



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009012	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Fa)		
編集担当教員	井石 哲也		
授業担当教員名(科目責任者)	井石 哲也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井石 哲也		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	Fa		
担当教員Eメールアドレス	iseki@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-822-4107(内線257)		
担当教員オフィスアワー	活水女子大学井石研究室にて要確認		
授業のねらい	高校で学んだ英語文法の復習と英語読解力の養成		
授業方法(学習指導法)	論説文、説明文、物語文等のさまざまなスタイルの英文を読みながら、読解力の基礎を身につける。		
授業到達目標	テキストの英文を1分間に120～130 wordsの読解力を身につける。これを実際の新聞読解等に役立て、情報や社会情勢等を理解する力を養成することを旨とする。		
授業内容	第1回 受講上の注意、テキストの使用法(第1章をサンプルとして)と授業の進め方について説明を行う。第2回～第14回は各回のトピックに従って英文の読解演習を行う。第15回はG-TELPの試験とまとめ、第16回目に定期試験を実施する。		
	回	内容	
	1	4月11日 導入、テキスト: The Amazing Flying Chair(以下各回のトピックを示す)	
	2	4月18日 Dropping Out of High School	
	3	4月25日 Bad Medical Advice?	
	4	5月2日 The Colonel's Bad Luck	
	5	5月9日 A World Without Birds	
	6	5月16日 The Great Invention	
	7	5月 23日 Garlic, Wonder Root	
	8	5月30日 John Chapman, a Strange, but Heroic Man	
	9	6月6日 Baseball Curses	
	10	6月13日 Untimely Death	
	11	6月 20日 Train Gropers	
	12	6月27日 Japan Saves an Anime Star	
	13	7月4日 Seeing Red	
	14	7月11日 What's Your Wish	
15	7月 25日 G-TELP英語共通テストとまとめ		
16	定期試験		

キーワード	
教科書・教材・参考書	Premium Reader: Pre-intermediate (Kinseido, 2011)
成績評価の方法・基準等	教員評価分 80%【定期試験70点、授業への取りくみ(発表等)30点】 英語共通テストG-TELPの成績 20%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_総英 I」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月3												
開講期間															
必修選択	必	単位数	1.0												
時間割コード	20110590009021	科目番号	05900090												
授業科目名	●総合英語 I (Fc)														
編集担当教員	藤本 ゆかり														
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり														
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習														
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目												
教室	[全]204														
対象学生(クラス等)	Fc														
担当教員Eメールアドレス															
担当教員研究室	非常勤講師控室														
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)														
担当教員オフィスアワー	授業終了後 2時30分より														
授業のねらい	世界中から発信された、最新の環境や健康に関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界の環境や健康に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、和訳の仕方を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。														
授業方法(学習指導法)	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、和訳の技術、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。														
授業到達目標	健康に対して関心を持ち、生活に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。和訳の技術を高めることができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。														
授業内容	<p>リーディングの方法として、準備段階を踏んで、リーディング本来の活動(スキミング、スキヤニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキヤニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、TOEIC形式の文法問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。</p> <p>英文は英字新聞から選ばれてきたものであり、フレーズ・リーディングを行うことで、教科書は特色あるものである。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行って下さい。 自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月11日 導入・授業内容の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月18日 Unit 1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月25日 Unit 2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5月 2日 Unit 3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月 9日 Unit 4</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月11日 導入・授業内容の説明	2	4月18日 Unit 1	3	4月25日 Unit 2	4	5月 2日 Unit 3	5	5月 9日 Unit 4
回	内容														
1	4月11日 導入・授業内容の説明														
2	4月18日 Unit 1														
3	4月25日 Unit 2														
4	5月 2日 Unit 3														
5	5月 9日 Unit 4														

	6	5月16日	Unit 5
	7	5月23日	Unit 6
	8	5月30日	Unit 7
	9	6月 6日	Unit 8
	10	6月13日	Unit 9
	11	6月20日	Unit 10
	12	6月27日	Unit 11
	13	7月 4日	Unit 12
	14	7月11日	Unit 13
	15	7月25日	G-TELPテストとまとめ
	16		定期試験
キーワード	リーディング / リスニング / 英文法 / 英字新聞 / 世界の出来事 / 健康		
教科書・教材・参考書	健康・食品ニュースを読む（小笠原真司：金星堂）英和辞典（電子辞書）を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%【定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視します。】 英語共通テストG-TELP20%		
受講要件（履修条件）	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ	リーディング・スキルの定着と向上を図る。		
学習・教育目標	総合的な英語の能力の基本を習得する。世界の出来事への関心を高める。		
備考（URL）			
備考（準備学習等）	授業には必ず予習をして臨んで下さい。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意を掴んでおきます。		





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合英語 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月3								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20110590009034	科目番号	05900090								
授業科目名	●総合英語 I (P18)										
編集担当教員	小笠原 真司										
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司										
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習										
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[全]323										
対象学生(クラス等)	P18										
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp										
担当教員研究室	環境科学部1階										
担当教員TEL	095-819-2094										
担当教員オフィスマワー	木3 金3 金5										
授業のねらい	このクラスは、医学・薬学・健康・食品関係の英文テキストを読みながら、リーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。										
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストは、大意を取る練習をするとともに、細かな部分はプリントを利用したテスト形式で行ないます。家庭で精読してもらいます。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習やサブテキストを利用して、専門語彙修得も図ります。そして、e-learning 教材を授業中行なうとともに、多くの部分は範囲を指定して、授業外学習してもらいます。										
授業到達目標	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたWords and Phrases 約400語を確実に修得します。また、テキストのファーストパラグラフがリピーティングできるようにします。e-learning 教材パワーワーズレベル4の90%を修得します。										
	<p>授業の最初には、前回学習したテキストの第1パラグラフのリピーティングからはじめます。家庭で必ずテキストについているCDを使いながら練習してきてください。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。細かな部分の内容の理解は、テスト形式のプリントを用いて、演習形式で行います。この教材は、</p> <p>また、プリントとCDを用いてメディカル英語の語彙修得も行ないます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習として、その進捗度も評価に加えます。担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <p>16回 定期試験</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション Unit 1. Love Portion (1) e-learning Power Pords Level 4 Unit.1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 2. Bird Flu メディカル英語語彙 身体(1) e-learning Power Pords Level 4 Unit.2~4</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Unit 3. Emergency Training メディカル英語語彙 身体(2) e-learning Power Pords Level 4 Unit.5~8</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション Unit 1. Love Portion (1) e-learning Power Pords Level 4 Unit.1	2	Unit 2. Bird Flu メディカル英語語彙 身体(1) e-learning Power Pords Level 4 Unit.2~4	3	Unit 3. Emergency Training メディカル英語語彙 身体(2) e-learning Power Pords Level 4 Unit.5~8
回	内容										
1	オリエンテーション Unit 1. Love Portion (1) e-learning Power Pords Level 4 Unit.1										
2	Unit 2. Bird Flu メディカル英語語彙 身体(1) e-learning Power Pords Level 4 Unit.2~4										
3	Unit 3. Emergency Training メディカル英語語彙 身体(2) e-learning Power Pords Level 4 Unit.5~8										

授業内容	4	Unit 4. Bilinguals Unit 5. Mad Cow Disease メディカル英語語彙 身体(3) e-learning Power Pords Level 4 Unit.9~12	
	5	Unit 6. Alcohol-flavored Biscuits メディカル英語語彙 身体(4) e-learning Power Pords Level 4 Unit.13~16	
	6	Unit 7. Alzheimer's Disease メディカル英語語彙 検査名 e-learning Power Pords Level 4 Unit.17~20	
	7	Unit 8. High Blood Pressure and Melatonin メディカル英語語彙 薬(1) e-learning Power Pords Level 4 Unit.21~24	
	8	Unit 9. Obesity メディカル英語語彙 薬(2) e-learning Power Pords Level 4 Unit.25~28	
	9	Unit 10. Smoky Bars メディカル英語語彙 薬(3) e-learning Power Pords Level 4 Unit.29~32	
	10	Unit 11. Churuch Candles and Health Risks メディカル英語語彙 病名(1) e-learning Power Pords Level 4 Unit.33~36	
	11	Unit 12. Hyponatremia メディカル英語語彙 病名(2) e-learning Power Pords Level 4 Unit.37~40	
	12	Unit 13. World's Oldest Person メディカル英語語彙 病名(3) e-learning Power Pords Level 4 Unit.41~43	
	13	Unit 14. Baby Fitness Classes メディカル英語語彙 病名(4) e-learning Power Pords Level 4 Unit.44~47	
	14	Unit 15. Chinese Fermented Beverages メディカル英語語彙 病名(5) e-learning Power Pords Level 4 Unit.48~50	
	15	G-TELP 試験とまとめ	
	16	定期試験	
	キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): Health and Nutrition News(金星堂) (CD付) 1,850円 『英語コミュニケーション教本』1600円 (第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材 : プリント教材 毎回配布します。	
	成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20% 授業中の発表(小テスト含む)10%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



メニューへ



ログアウト



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	前期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009024	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Lb)		
編集担当教員	西原 真弓		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 真弓		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 真弓		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]403		
対象学生(クラス等)	Lb		
担当教員Eメールアドレス	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	月曜日昼休み 非常勤講師室にて		
授業のねらい	学生たちの身近にある内容の読み物をベースに、英語で読み、聞き、書き、話す力を伸ばすことをねらいとする。リスニングでは音変化を意識し、自然な英語を聞き取れるようになる。また、表現力を広げ、情報発信能力を向上させる。		
授業方法(学習指導法)	テキストをベースに、英語の4技能をのばす練習を行う。また、速読用のプリントを使い、情報を読み取り、それに関する自分の意見を言えるようにしていく。		
授業到達目標	必要な情報の読解、聴解ができるようになる。表現力を広げ、英語での自己表現能力を向上させる。		
授業内容	16回目 8月9日 定期試験		
	回	内容	
	1	オリエンテーション、音声のポイント	
	2	On-Campus Facilities	
	3	Classroom Expectations	
	4	Roommates Wanted	
	5	Tutoring	
	6	A Blind Date Disaster	
	7	Marriage Announcement	
	8	Chemistry	
	9	Pre-Wedding Parties	
	10	Driving in the US	
	11	Driving in the US	
	12	Pastime	
	13	Relaxing Time	
	14	Words of Encouragement	
15	G-TELPとまとめ		

	16 試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	西原俊明、西原真弓、Amy Mukamuri 『Cultural Encounters』センゲージラーニング
成績評価の方法・基準等	定期試験 70点 授業外課題 10点 G-TELP 20点
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009013	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Ld)		
編集担当教員	川島 浩勝		
授業担当教員名(科目責任者)	川島 浩勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	川島 浩勝		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	Ld		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	長崎外国語大学 3階334研究室		
担当教員TEL	095-840-2000		
担当教員オフィスアワー	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業のねらい	英語のリスニングとリーディングにおける情報処理能力を高める。		
授業方法(学習指導法)	様々なタスクを用い、リスニングとリーディングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己の英語力を客観的に把握・理解できる場面で用意され、同時に、リスニングとリーディングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。		
授業到達目標	本授業の到達目標は、1)口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)語彙力のアップ、3)英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4)リスニングのスピードで文の処理・理解ができるようになる、5)英語の音読ができるようになる、である。		
授業内容	<p>第1回: 授業方針の説明・英語力診断テスト</p> <p>第2回～第7回: 90分授業を大まかに下記の4つのパートに分けて授業を行う。 A: Extensive Listening 1 (アメリカの家族生活を題材としたDVD: Level 1) B: 語彙力アップ(Level 1) C: ミニマルペアーの識別練習 D: 音声レベルにおける文理解</p> <p>第8回: 授業内容A)～D)のまとめ・リスニング力把握テスト</p> <p>第9回～第14回: 90分授業を大まかに下記の4つのパートに分けて授業を行う。 E: Extensive Listening 2 (アメリカの家族生活を題材としたDVD: Level 2) F: 語彙力アップ(Level 2) G: ストリー・リスニング & リーディング (Level 1) H: Gの内容理解およびその音読</p> <p>第15回: 全授業のまとめ・G-TELP</p> <p>第16回: 学期末試験(8月9日)</p>		

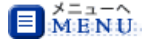
	<p>-----</p> <p>2011.4.12 授業方針の説明・英語力診断テスト 2011.4.19 上記の授業内容(A-D) 2011.4.26 上記の授業内容(A-D) 2011.5.10 上記の授業内容(A-D) 2011.5.17 上記の授業内容(A-D) 2011.5.24 上記の授業内容(A-D) 2011.6.7 上記の授業内容(A-D) 2011.6.14 授業内容A)～D)のまとめ・リスニング力把握テスト(1) 2011.6.21 上記の授業内容(E-H) 2011.6.28 上記の授業内容(E-H) 2011.7.5 上記の授業内容(E-H) 2011.7.12 上記の授業内容(E-H) 2011.7.19 上記の授業内容(E-H) 2011.7.26 上記の授業内容(E-H)・リスニング力把握テスト(2) 2011.8.2 全授業のまとめ&G-TELP 2011.8.9 学期末試験</p>
キーワード	リスニング・語彙力・ミニマルペアー・リーディング・文理解・音読
教科書・教材・参考書	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。
成績評価の方法・基準等	レポート20%・G-TELP20%・学期末試験60%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009031	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Lf)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	Lf		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
授業内容	回	内容	
	1	4月12日 第1回 オリエンテーション	
	2	4月16日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	3	4月19日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	4	4月26日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)	
	5	5月10日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)	
	6	5月17日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)	
	7	5月24日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)	
	8	6月7日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)	
		6月14日	

	9	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	6月21日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	6月28日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	7月5日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	13	7月12日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6)
	14	7月19日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	15	7月26日 Review とG-TELPテスト
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り、Plain English訓練テキスト(Cultural Encounters: センゲージ)	
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは毎回行う。総合英語1の評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。	





タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009035	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (P19)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]124		
対象学生(クラス等)	P19		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィスパワー	木3 金3 金5		
授業のねらい	このクラスは、医学・薬学・健康・食品関係の英文テキストを読みながら、リーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストは、大意を取る練習をするとともに、細かな部分はプリントを利用したテスト形式で行ないます。家庭で精読してもらいます。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習やサブテキストを利用して、専門語彙修得も図ります。そして、指定のe-learning 教材を授業外学習してもらいます。		
授業到達目標	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたWords and Phrases 約400語を確実に修得します。また、テキストのファーストパラグラフがリピーティングできるようにします。e-learning 教材パワーワーズレベル4の90%を修得します。		
	<p>授業の最初には、前回学習したテキストの第1パラグラフのリピーティングからはじめます。家庭で必ずテキストについているCDを使いながら練習してきてください。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。細かな部分の内容の理解は、テスト形式のプリントを用いて、演習形式で行います。この教材は、</p> <p>また、プリントとCDを用いてメディカル英語の語彙修得も行ないます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業外でe-learning教材にも挑戦してもらいます。その進捗度も評価に加えます。</p> <p>担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		
	16回 定期試験		
	回	内容	
	1	オリエンテーション Unit 1. Love Portion (1) e-learning Power Pords Level 4 Unit.1	
	2	Unit 2. Bird Flu メディカル英語語彙 身体(1) e-learning Power Pords Level 4 Unit.2-4	
	3	Unit 3. Emergency Training メディカル英語語彙 身体(2) e-learning Power Pords Level 4 Unit.5-8	

授業内容	4	Unit 4. Bilinguals Unit 5. Mad Cow Disease メディカル英語語彙 身体(3) e-learning Power Pords Level 4 Unit.9~12	
	5	Unit 6. Alcohol-flavored Biscuits メディカル英語語彙 身体(4) e-learning Power Pords Level 4 Unit.13~16	
	6	Unit 7. Alzheimer's Disease メディカル英語語彙 検査名 e-learning Power Pords Level 4 Unit.17~20	
	7	Unit 8. High Blood Pressure and Melatonin メディカル英語語彙 薬(1) e-learning Power Pords Level 4 Unit.21~24	
	8	Unit 9. Obesity メディカル英語語彙 薬(2) e-learning Power Pords Level 4 Unit.25~28	
	9	Unit 10. Smoky Bars メディカル英語語彙 薬(3) e-learning Power Pords Level 4 Unit.29~32	
	10	Unit 11. Churuch Candles and Health Risks メディカル英語語彙 病名(1) e-learning Power Pords Level 4 Unit.33~36	
	11	Unit 12. Hyponatremia メディカル英語語彙 病名(2) e-learning Power Pords Level 4 Unit.37~40	
	12	Unit 13. World's Oldest Person メディカル英語語彙 病名(3) e-learning Power Pords Level 4 Unit.41~43	
	13	Unit 14. Baby Fitness Classes メディカル英語語彙 病名(4) e-learning Power Pords Level 4 Unit.44~47	
	14	Unit 15. Chinese Fermented Beverages メディカル英語語彙 病名(5) e-learning Power Pords Level 4 Unit.48~50	
	15	G-TELP 試験とまとめ	
	16	定期試験	
	キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): Health and Nutrition News(金星堂) (CD付) 1,850円 メディカル英語小事典(英光社)1,100円 (第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材 :プリント教材 毎回配布します。	
	成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20% 授業中の発表(小テスト含む)10%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009039	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Lc)		
編集担当教員	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(科目責任者)	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲毛 逸郎		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	Lc		
担当教員Eメールアドレス	inagc@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部 6F 618 研究室		
担当教員TEL	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー	水曜日 16:10~17:40		
授業のねらい	高等学校までの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す練習を行い、また、リーディング用教材を用いて、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。		
授業到達目標	英語の4技能の訓練を通して、英検準1級程度の試験に合格できる総合的英語力の育成を目標とする。		
授業内容	16回目 定期試験		
	回	内容	
	1	受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Unit 1 Formal Letter Writing: A Dying Art Scanningのスキルについて	
	2	Unit 2 U.S. Teens: Reading is Interesting Using Titles to Understand Main Ideas (Gist)	
	3	Unit 3 How Old Is Old Enough Skimming for the Main Idea	
	4	Unit 4 The History of Hollywood Recognizing Sequence of Events	
	5	Unit 5 Numbers and Beliefs Identifying Main Ideas within Paragraphs (1)	
	6	Unit 6 The History of Chocolate Predicting のスキル	
	7	Unit 7 Breakfast Like a King Inferring のスキル	
	8	Unit 8 Oh, No --- Not Another Test! Identifying Main and Supporting Ideas	
	9	Unit 9 FAQs about Recycling Understanding Main Ideas (Gist)	
10	Unit 10 Time for Work, Time for Play		

	Identifying Main Ideas withing Paragraphs (2)
	11 Unit 11 Netiquette --- Internet Dos and Don'ts Developing Reading Fluency (1)
	12 Unit 12 Have You Read Any Good Books Lately? Developing Reading Fluency (2)
	13 Unit 13 Life Expectations Developing Reading Fluency (3)
	14 Unit 14 The Oscar Goes to ... Willie Fulgear! Developing Reading Fluency (4)
	15 授業のまとめ G-TELP 試験
	16 定期試験実施
キーワード	英語の4技能、総合的訓練
教科書・教材・参考書	Intermediate Skills for Reading 成美堂
成績評価の方法・基準等	期末試験(70%)、毎回実施の小テスト(10%)、授業での活動に対する積極的な取り組み状況(10%)を基準に評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	既習外国語
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3																																
開講期間																																			
必修選択	必	単位数	1.0																																
時間割コード	20110590009014	科目番号	05900090																																
授業科目名	●総合英語 I (Fb)																																		
編集担当教員	大坪 有実																																		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実																																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実																																		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																																
教室	[全]401																																		
対象学生(クラス等)	Fb																																		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp																																		
担当教員研究室	非常勤講師控室																																		
担当教員TEL																																			
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00~12:50																																		
授業のねらい	このクラスは、既習文法の再確認を中心に、リーディング力をつけていくことをねらいとする。																																		
授業方法(学習指導法)	フレーズリーディングを演習形式で行います。本文を音読し、各フレーズ単位で意味をつかみ、文全体の意味を理解していきます。																																		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 文をフレーズで区切り、文全体の意味がつかめるようになる。 各課で学習した文法項目を理解し、学習した文法、熟語を用い、英作文が作れる。 																																		
授業内容	<p>全体は大きく、前半と後半からなる。 授業の前半はリーディングを中心した授業で、フレーズリーディングをしながら、速読力を身につけていきます。 授業の後半は既習文法の再確認、また、その応用としてTOEICの問題を解いていきます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月12日 教科書販売・Introduction</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月16日(土) Singapore's Love Potion Heads to Markets Overseas</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月19日 WHO: Bird Flu May Have Passed Between Siblings</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4月26日 Foreign Staff Get OK for Emergency Training</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月10日 Study: Two Languages Help to Keep the Mind Young</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5月17日 Experts Will Feed Infected Brains to Cows</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5月24日 New Alcohol-flavored Biscuits Not to Everyone's Taste</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6月7日 Study: Tea Drinking May Protect Against Alzheimer's Disease</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6月14日 Study: Melatonin May Help Lower High Blood Pressure</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6月21日 Fat Kids Singled Out for Extra Exercise</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6月28日 Study: Air Worse in Smoky Bars Than on Truckchoked Roads</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7月5日 Researchers: Church Candles and Incense Pose Health Risks</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7月12日 Fitness: How Much Water Is Enough During Exercise?</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7月19日 Woman Listed as World's Oldest Person Dies in Puerto Rico at 114</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>7月26日 G-TELP とまとめ</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月12日 教科書販売・Introduction	2	4月16日(土) Singapore's Love Potion Heads to Markets Overseas	3	4月19日 WHO: Bird Flu May Have Passed Between Siblings	4	4月26日 Foreign Staff Get OK for Emergency Training	5	5月10日 Study: Two Languages Help to Keep the Mind Young	6	5月17日 Experts Will Feed Infected Brains to Cows	7	5月24日 New Alcohol-flavored Biscuits Not to Everyone's Taste	8	6月7日 Study: Tea Drinking May Protect Against Alzheimer's Disease	9	6月14日 Study: Melatonin May Help Lower High Blood Pressure	10	6月21日 Fat Kids Singled Out for Extra Exercise	11	6月28日 Study: Air Worse in Smoky Bars Than on Truckchoked Roads	12	7月5日 Researchers: Church Candles and Incense Pose Health Risks	13	7月12日 Fitness: How Much Water Is Enough During Exercise?	14	7月19日 Woman Listed as World's Oldest Person Dies in Puerto Rico at 114	15	7月26日 G-TELP とまとめ
回	内容																																		
1	4月12日 教科書販売・Introduction																																		
2	4月16日(土) Singapore's Love Potion Heads to Markets Overseas																																		
3	4月19日 WHO: Bird Flu May Have Passed Between Siblings																																		
4	4月26日 Foreign Staff Get OK for Emergency Training																																		
5	5月10日 Study: Two Languages Help to Keep the Mind Young																																		
6	5月17日 Experts Will Feed Infected Brains to Cows																																		
7	5月24日 New Alcohol-flavored Biscuits Not to Everyone's Taste																																		
8	6月7日 Study: Tea Drinking May Protect Against Alzheimer's Disease																																		
9	6月14日 Study: Melatonin May Help Lower High Blood Pressure																																		
10	6月21日 Fat Kids Singled Out for Extra Exercise																																		
11	6月28日 Study: Air Worse in Smoky Bars Than on Truckchoked Roads																																		
12	7月5日 Researchers: Church Candles and Incense Pose Health Risks																																		
13	7月12日 Fitness: How Much Water Is Enough During Exercise?																																		
14	7月19日 Woman Listed as World's Oldest Person Dies in Puerto Rico at 114																																		
15	7月26日 G-TELP とまとめ																																		

	16 8月2日 定期試験
キーワード	フレーズリーディング
教科書・教材・参考書	Readings from Health and Nutrition News 金星堂 \1,850+税 第1回目の授業時、教室にてテキストを販売します。
成績評価の方法・基準等	定期試験60% 発表を含む、授業に対する積極的な取組状況40% 上の100%評価を80%に換算し、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。 教科書を購入すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_総英I」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009028	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Kc)		
編集担当教員	松田 雅子		
授業担当教員名(科目責任者)	松田 雅子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松田 雅子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]205		
対象学生(クラス等)	Kc		
担当教員Eメールアドレス	mmatsuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階404研究室		
担当教員TEL	095-819-2740		
担当教員オフィスアワー	月曜日4-5時		
授業のねらい	基本的な英語を話す、聞く、読む、書く力を伸ばす。コミュニケーション力をつける。		
授業方法(学習指導法)	ビデオ、映画視聴、リスニング、リピーティング、シャドウイング、ペアで会話練習、リーディング、ライティング		
授業到達目標	簡単な会話の文型を覚えて、自分について、身近なことが言えるようになる。 簡単な英語の本をすらすらと読める。 自分のコメントを言えるようになる。		
授業内容	<p>①外国語学習に音声の要素を含めるか否かが習得の成功の鍵となるので、CDを何度も聞き、声を出して練習する。ICレコーダーに録音し、学習の記録をとる。</p> <p>②イギリスのドラマを視聴し、ロールプレイをする。</p> <p>③簡単な英語教材を読み、英語で内容をまとめ、説明する。内容について意見を発表する</p> <p>④映画を英語字幕で鑑賞する。家でも見るようにする。</p> <p>第1回 1課—4課 第2回 5課—8課 第3回 9課—12課 第4回 13課—16課 第5回 17課—20課 第6回 21課—24課 第7回 25課—28課 第8回 29課—32課 第9回 33課—36課 第10回 37課—40課 第11回 41課—44課 第12回 45課—48課 第13回 49課—50課 第14回 会話テスト 第15回 G-TELPとreview 第16回 筆記テスト</p>		
キーワード	スピーキング、リピーティング、レコーディング、ペアワーク		
教科書・教材・参考書	1)英会話なるほど練習帳(アルク、2001) 2)副読本2冊(テキストは最初の時間に販売) 3)プリント教材		
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%【定期試験 50%、口頭試験30%、課題20%】、G-TELPテスト20%		

受講要件(履修条件)	1) 毎回必ず授業に遅刻しないで出席すること 2) 毎日英語の音読を録音すること
本科目の位置づけ	英語の読み、書き、聞く、話す力の基礎を勉強する
学習・教育目標	簡単な英語の読み、書き、聞く、話す力をつける
備考(URL)	
備考(準備学習等)	毎日必ず英語を音読し、録音する 英語の映画を英語字幕で見る

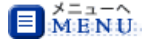


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_総英I」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009032	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Le)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	Le		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
授業内容	回	内容	
	1	4月6日 第1回 オリエンテーション	
	2	4月13日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	3	4月20日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	4	4月27日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)	
	5	5月11日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)	
	6	5月18日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)、映画による聞き取り(1)	
	7	5月25日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(2)	
	8	6月1日 第8回 聞こえなくなる音、速読(phrase reading)、映画による聞き取り(3)	
		6月8日	

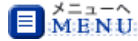
	9	第9回 インフォメーションギャップによるヘアワーク(2), 映画による聞き取り(4)
	10	6月15日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(5)
	11	6月22日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるヘアワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	6月29日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(6), 速読(phrase reading)
	13	7月6日 第13回 なくなる音 速読(phrase reading)
	14	7月13日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	15	7月20日 Review 及びG-TELPテスト
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト Cultural Encounters (センテージ)	
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは毎回行う。総合英語Iの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	前期	曜日・校時	水1																												
開講期間																															
必修選択	必	単位数	1.0																												
時間割コード	20110590009038	科目番号	05900090																												
授業科目名	●総合英語 I (Kd)																														
編集担当教員	松元 浩一																														
授業担当教員名(科目責任者)	松元 浩一																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松元 浩一																														
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																														
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																												
教室	[全]203																														
対象学生(クラス等)	Kd																														
担当教員Eメールアドレス	kmat@nagasaki-u.ac.jp																														
担当教員研究室	教育学部本館617号室																														
担当教員TEL																															
担当教員オフィスパワー	水曜日12:00~12:50																														
授業のねらい	(1) TOEIC, TOEFL等の読解テストにも役立つように英文を正確に(精読)、早く(速読)読み解くことができる。 (2) 英文中の重要な語句や表現を習得し、英語による表現(英作文・英会話)にも応用できる力を身につける。																														
授業方法(学習指導法)	(1) 演習形式とする。受講者全員があらかじめ指定された箇所の語句や表現の意味を調べ、英文の内容を発表できるように予習する。授業ではこちらが無作為に指名するので、担当者は当てられた箇所を予習をもとに発表する。 (2) 着実に読解力をつけるために確認テストを2~3回行う。 (3) おりにふれてリスニングの訓練も行う(ただし本コースの主たる目的は読解力の養成である)。																														
授業到達目標	TOEICの読解力問題で70%~80%くらいの正解が得られるような力を身につける。																														
授業内容	<p>◆読解力を高めたいのに実力がつかない、教科書の英文は退屈だと思っている学生も楽しく学べるように、素材は物語、自伝、小節、エッセイの4ジャンル、国籍も英米、時代も19世紀と現代と変化に富ませ、注釈はもちろん、英文法ガイドも設けられている教科書を準備したので、存分に読み込んで学習してもらいたい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>授業の進め方、評価の説明、教科書の説明、単元Lafcadio Hearn (1)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Lafcadio Hearn (2)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Lafcadio Hearn (3)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Helen Keller (1)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>確認テスト第1回、Lafcadio Hearnのリスニング練習 Helen Keller (2)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Helen Keller (3)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Helen Keller (4)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Philip K. Dick (1)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Philip K. Dick (2)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Philip K. Dick (3)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>確認テスト第2回、Helen Kellerリスニング練習 Philip K. Dick (4)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Robert Lynd (1)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Robert Lynd (2)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	授業の進め方、評価の説明、教科書の説明、単元Lafcadio Hearn (1)	2	Lafcadio Hearn (2)	3	Lafcadio Hearn (3)	4	Helen Keller (1)	5	確認テスト第1回、Lafcadio Hearnのリスニング練習 Helen Keller (2)	6	Helen Keller (3)	7	Helen Keller (4)	8	Philip K. Dick (1)	9	Philip K. Dick (2)	10	Philip K. Dick (3)	11	確認テスト第2回、Helen Kellerリスニング練習 Philip K. Dick (4)	12	Robert Lynd (1)	13	Robert Lynd (2)
回	内容																														
1	授業の進め方、評価の説明、教科書の説明、単元Lafcadio Hearn (1)																														
2	Lafcadio Hearn (2)																														
3	Lafcadio Hearn (3)																														
4	Helen Keller (1)																														
5	確認テスト第1回、Lafcadio Hearnのリスニング練習 Helen Keller (2)																														
6	Helen Keller (3)																														
7	Helen Keller (4)																														
8	Philip K. Dick (1)																														
9	Philip K. Dick (2)																														
10	Philip K. Dick (3)																														
11	確認テスト第2回、Helen Kellerリスニング練習 Philip K. Dick (4)																														
12	Robert Lynd (1)																														
13	Robert Lynd (2)																														

	14	Robert Lynd (3)
	15	Robert Lynd (4)とG-TELPテスト
	16	確認テスト第3回 (期末テスト), Robert Lyndリスニング練習
キーワード	読解力(精読・速読)	
教科書・教材・参考書	行方昭夫・川西 進・柴田稔彦・上島建吉(編注)Reading English Step by Step. 音羽書房鶴見書店.	
成績評価の方法・基準等	教員評価分80% 【(1) 授業時の発表 50% (2) 確認テスト第1回～3回の成績50% (3) 学生便覧にあるとおり, 授業総回数の3分の1以上欠席した学生は受験資格を認めない。】 G-TELPテスト20%	
受講要件(履修条件)	学生便覧を参照.	
本科目の位置づけ	学生便覧を参照.	
学習・教育目標	上記「授業のねらい」とおり.	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	授業時には毎回英和辞書を(可能ならば英英辞書も)持参すること.	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2														
開講期間																	
必修選択	必	単位数	1.0														
時間割コード	20110590009009	科目番号	05900090														
授業科目名	●総合英語 I (Eg)																
編集担当教員	古場 なおみ																
授業担当教員名(科目責任者)	古場 なおみ																
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古場 なおみ																
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目														
教室	[全]204																
対象学生(クラス等)	Eg																
担当教員Eメールアドレス	kobaknke@yahoo.co.jp																
担当教員研究室	非常勤講師室																
担当教員TEL																	
担当教員オフィスパワー	講義時間の前後																
授業のねらい	このクラスは、現代世界がかかえている環境問題や最新の食品問題を学びながら、英語リーディング力および語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。																
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストは、大意を取る練習をするとともに、テキストの細かな内容理解や訳はプリントを利用したテスト形式で行います。家庭で、指定された範囲をきちんと読んで、予習しておくことが大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、TOEIC形式の問題にも挑戦してもらいます。また、フレーズリーディングやリスニング、リピーティングなども行い、音声面の強化も図ります。																
授業到達目標	テキストの英語を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word約200語およびテキスト中のWords and Phrases約200語の計400語を確実に意味がわかるように修得します。また、テキスト中にあるTOEIC形式の文法問題を解き、構文の基本を学習します。																
授業内容	<p>授業の最初には、英語構文や英単語の小テストを行います。これは、テキストからテスト範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについているCDを使いながら学習してください。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生は指定された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。</p> <p>また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習もします。細かな部分の理解は、プリントを用いて演習形式で行います。</p> <p>さらに、教科書のTOEIC形式の問題を解くとともに、さらにプリント教材で、多くの問題に挑戦します。フレーズリーディングやリピーティングを用いて、リスニング力をつける練習もします。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要になります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者からしじされた家庭学習の課題を行い、きちんと予習を行えば、必ず英語の力は向上します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション Unit 1. Scientists Zap Coral Reefs with Electricity to Save Them</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 2. "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Unit 3. Offices Use Ice to Cool Down and Save Power</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Unit 4. Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Unit 5. Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Unit 6. College Students Feel Better after Screaming Together</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション Unit 1. Scientists Zap Coral Reefs with Electricity to Save Them	2	Unit 2. "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source	3	Unit 3. Offices Use Ice to Cool Down and Save Power	4	Unit 4. Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's	5	Unit 5. Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property	6	Unit 6. College Students Feel Better after Screaming Together
回	内容																
1	オリエンテーション Unit 1. Scientists Zap Coral Reefs with Electricity to Save Them																
2	Unit 2. "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source																
3	Unit 3. Offices Use Ice to Cool Down and Save Power																
4	Unit 4. Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's																
5	Unit 5. Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property																
6	Unit 6. College Students Feel Better after Screaming Together																

	7	Unit 7. Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers
	8	Unit 8. Smoking Bans Could Cut into Cuban Cigar Sales
	9	Unit 9. Global Warming Claiming Next Victim:Andes Water
	10	Unit 10. Aborigines Still rely on Bush Medicines for remedies
	11	Unit 11. African Farmers Seek Ways to Survive Droughts
	12	Unit 12. Fruity Cocktails May Be Good for Health
	13	Unit 13. Rising Seas May Force Island Nations to Evacuate
	14	Unit 14. Malaysians Getting Appetite for Healthier Eating
	15	英語学力試験G-TELPとまとめ
	16	定期試験(2011年7月27日)
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト):Healing Our World(南雲堂)(CD付き)1,800円 教材:プリント教材 毎回配布します。	
成績評価の方法・基準等	教員評価部分(定期試験50%、毎回の小テスト等20%、授業中の発表10%)、G-TELP20%で行います。 注)総合英語の評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行われます。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行われます。詳細に関しては、担当教官より1回目の授業時に説明が行われますので、よく聞いて指示に従ってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。	





タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20110590009015	科目番号	05900090																				
授業科目名	●総合英語 I (Ef)																						
編集担当教員	中村 吏花																						
授業担当教員名(科目責任者)	中村 吏花																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 吏花																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]401																						
対象学生(クラス等)	Ef																						
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスアワー	水曜昼休み																						
授業のねらい	英字新聞の特徴(その独特の表現や専門用語)を知る。世界のニュースに触れ、世界中で起こっているさまざまな出来事を知り、その背景を理解する。また、日本の現状を客観的に見る目を養う。高校までに学習してきた英語の基礎的な文法事項を再確認する。新出語句や表現を習得する。英語の音の特徴を知り、慣れる。																						
授業方法(学習指導法)	必ず予習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を読み・聞く訓練をする。授業中にそれぞれの問題のポイントと、内容を理解する。重要文法事項を解説する。																						
授業到達目標	基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することが出来る。英語の4技能を総合的に向上させる。																						
授業内容	<p>始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、ディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。英文記事を読みながら、英字新聞特有の英語の決まりを知り、練習問題を通して英文記事を読む事に慣れていきましょう。テキストを読むことと平行して、図書館やインターネットで自分の興味のある分野の英字新聞記事を読む訓練もやってみましょう。内容がよくつかめない時は、何がわからないのかを明らかにさせてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など、細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。速読・精読を意識して記事を読んでいきましょう。*教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それより遅い入室は欠席扱いとします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 4月6日 Introduction</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 4月13日 見出しの特徴</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 4月20日 見出しと書き出し(1)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 4月27日 見出しと書き出し(2)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 5月11日 学生生活</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 5月18日 健康</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 5月25日 科学</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 6月1日 経済</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 6月8日 政治</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 4月6日 Introduction	2	第2回 4月13日 見出しの特徴	3	第3回 4月20日 見出しと書き出し(1)	4	第4回 4月27日 見出しと書き出し(2)	5	第5回 5月11日 学生生活	6	第6回 5月18日 健康	7	第7回 5月25日 科学	8	第8回 6月1日 経済	9	第9回 6月8日 政治
回	内容																						
1	第1回 4月6日 Introduction																						
2	第2回 4月13日 見出しの特徴																						
3	第3回 4月20日 見出しと書き出し(1)																						
4	第4回 4月27日 見出しと書き出し(2)																						
5	第5回 5月11日 学生生活																						
6	第6回 5月18日 健康																						
7	第7回 5月25日 科学																						
8	第8回 6月1日 経済																						
9	第9回 6月8日 政治																						

	10	第10回 6月15日 スポーツ
	11	第11回 6月22日 農業
	12	第12回 6月29日 国際問題
	13	第13回 7月6日 発表(1)
	14	第14回 7月13日 発表(2)
	15	第15回 7月20日 G-TELPとまとめ
	16	第16回 7月27日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	毎回プリントを配布します。欠席をしてプリントを受け取れなかった場合は、必ず次の授業までにクラスの人から見せてもらうか、メールで問い合わせること。	
成績評価の方法・基準等	定期試験65%、発表15%、G-TELP20%	
受講要件(履修条件)	3分の1以上の欠席で受験資格を失います。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		

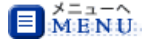


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

[印刷](#)

シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。

[戻る](#)

学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009018	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Eh)		
編集担当教員	稲富 百合子		
授業担当教員名(科目責任者)	稲富 百合子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲富 百合子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	Eh		
担当教員Eメールアドレス	inadomi@fukuoka-u.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後、また、メールにて受け付けます。		
授業のねらい	この授業では、英語の4技能のうち、特に「読む」・「聴く」能力の養成をに力を入れます。また、文法の知識や語彙力の強化も図りたい。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半ではリスニングを中心に、後半ではリーディングを中心に進めていきます。本文に出てきた構文やイディオムを参考にして、英作文の問題にも取り組んでいきます。各自、予習、復習をして授業に臨んでください。		
授業到達目標	(1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 (2) 自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。		
授業内容	予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニット進めることを進度の目安にしてください。		
	回	内容	
	1	第1回 4月 6日 教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明)、英語の文章構成について(プリント教材)	
	2	第2回 4月13日 Unit 1: On-Campus Facilities	
	3	第3回 4月20日 Unit 2: Classroom Expectations	
	4	第4回 4月27日 Unit 3: Roommates Wanted	
	5	第5回 5月11日 Unit 4: Tutoring	
	6	第6回 5月18日 Unit 5: A Blind Date Disaster	
	7	第7回 5月25日 Unit 6: Marriage Announcement	
	8	第8回 6月 1日 Unit 7: Chemistry	
	9	第9回 6月 8日 Unit 8: Pre-Wedding Parties	
	10	第10回 6月15日 Unit 9: Driving in the United States(1)	
	11	第11回 6月22日 Unit 10: Driving in the United States(2)	
	12	第12回 6月29日 Unit 11: Pastime	
	13	第13回 7月 6日 Unit 12: Relaxing Time	
	14	第14回 7月13日 Unit 13: Words of Encouragement	
15	第15回 7月 20日 G-TELPとまとめ		

	16 第16回 7月27日 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	Cultural Encounters(センゲージラーニング)1,900円(税別)ISBN: 978-4-86312-184-3 * 授業には必ず辞書を持参して下さい。
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験60%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)25%、小テスト15%とし、総合的に評価します。】 ※平成23年度前期の総合英語Iの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。

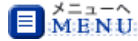


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009033	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (La)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	La		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
授業内容	回	内容	
	1	4月6日 第1回 オリエンテーション	
	2	4月13日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	3	4月20日 第3回 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	4	4月27日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)	
	5	5月11日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)	
	6	5月18日 第6回 弱く発音される音, 速読(phrase reading)	
	7	5月25日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1), 映画による聞き取り(1)	
	8	6月1日 第8回 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2)	
		6月8日	

	9	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	6月15日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	6月22日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	6月29日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	13	7月6日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6)
	14	7月13日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	15	7月20日 G-TELPテスト、Review、およびまとめテスト
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト Cultural Encounters(センテージ)	
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは毎回行う。総合英語1の評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。	





タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_総英I」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2												
開講期間															
必修選択	必	単位数	1.0												
時間割コード	20110590009036	科目番号	05900090												
授業科目名	●総合英語 I (Ee)														
編集担当教員	小笠原 真司														
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司														
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習														
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目												
教室	[全]124														
対象学生(クラス等)	Ee														
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp														
担当教員研究室	環境科学部1階														
担当教員TEL	095-819-2094														
担当教員オフィスパワー	木3 金3 金5														
授業のねらい	このクラスは、現代世界がかかえている環境問題や最新の食品問題を学びながら、英語リーディング力および語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。														
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストは、大意を取る練習をするとともに、テキストの細かな内容理解や訳はプリントを利用したテスト形式で行います。家庭で、指定された範囲をきちんと読んで、予習しておくことが大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、TOEIC形式の問題にも挑戦してもらいます。また、フレーズリーディングやリスニング、リピーティングなどを行い、音声面の強化も図ります。														
授業到達目標	テキストの英語を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word 約200語およびテキスト中のWords and Phrases 約200語の計400語を確実に意味がわかるように修得します。また、テキスト中にあるTOEIC形式の文法問題を解き、構文の基本を学習します。														
授業内容	<p>授業の最初には、英語構文や英単語の小テストを行います。これは、テキストからテスト範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについているCDを使いながら学習してください。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。</p> <p>また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習もします。細かな部分の理解は、プリントを用いて演習形式で行ないます。</p> <p>さらに、教科書のTOEIC形式の問題を解くとともに、さらにプリント教材で、多くの問題に挑戦します。フレーズリーディングやリピーティングを用いて、リスニング力をつける練習もします。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習の課題を行い、きちんと予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <p>16回 定期試験</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション Unit 1. Scientists Zap Coral Reefs With Electricity to Save Them</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 2. Humble' Potato Emerging as World's Next Food Source</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Unit 3. Offices Use Ice to Cool Down and Save Power</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Unit 4. Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Unit 5. Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション Unit 1. Scientists Zap Coral Reefs With Electricity to Save Them	2	Unit 2. Humble' Potato Emerging as World's Next Food Source	3	Unit 3. Offices Use Ice to Cool Down and Save Power	4	Unit 4. Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's	5	Unit 5. Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property
回	内容														
1	オリエンテーション Unit 1. Scientists Zap Coral Reefs With Electricity to Save Them														
2	Unit 2. Humble' Potato Emerging as World's Next Food Source														
3	Unit 3. Offices Use Ice to Cool Down and Save Power														
4	Unit 4. Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's														
5	Unit 5. Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property														

	6	Unit 6. College Students Feel Better After Screaming Together
	7	Unit 7. Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers
	8	Unit 8. Smoking Bans Could Cut Into Cuban Cigar Sales
	9	Unit 9. Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water
	10	Unit 10. Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies
	11	Unit 11. African Farmers Seek Ways to Survive Droughts
	12	Unit 12. Fruity Cocktails May be Good for Health
	13	Unit 13. Rising Seas May Force Island Nations to Evacuate
	14	Unit 14. Malaysians Getting Appetite for Healthier Eating
	15	英語学力試験G-TELPの試験とまとめ
	16	定期試験
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト):Healing Our World(南雲堂) (CD付) 1,800円(第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材 :プリント教材 毎回配布します。	
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【○定期試験50%、毎回の小テスト等20%、授業中の発表10%、G-TELP 20%で行います。】 注)総合英語Iの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。	





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009001	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Ed)		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	Ed		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	特にReadingに関してバランスの取れたスキルアップを目指します。日本語訳、英語訳の対応力、判断力、そして応用力をつけていきます。		
授業方法(学習指導法)	:できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業到達目標	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。		
授業内容	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。多様なトピックについて多く取り上げられているTextです。Phrase Reading, Skimming-Scanning, Listening, 意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで演習します。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction	
	2	第2回 Unit 1 Mt. Everest Trash Turned Into Other Men's Treasure	
	3	第3回 Unit 2 Palestinian Ensemble Gives Cultural Lesson to Americans	
	4	第4回 Unit 3 Zambian Children Get Their Education Over the Radio	
	5	第5回 Unit 4 Plan Calls for Brazilian Schoolkids to Drink Coffee	
	6	第6回 Unit 5 U.N. Member States Urged to Observe Olympic Truce	
	7	第7回 Unit 6 Jewish, Muslim Students Live Together to Promote Peace	
	8	第8回 Unit 7 Bosnian Soccer Club Shows Unity Can Work	
	9	第9回 Unit 8 Aceh Students Join Tsunami Recovery Efforts	
	10	第10回 Unit 9 Palestinian Rappers Fight Occupation with Music, Not Bombs	
	11	第11回 Unit 10 Beijing Suggests Rooftop Lawns for Cleaner Air	
	12	第12回 Unit 11 Start of School Year Signals Progress for Afghanistan	
	13	第13回 Unit 12 Tiny Chilean Clarinet Maker Crafts World's Best	
	14	第14回 Unit 13 U.N. Vet Spreads Goodwill in War-Torn Lebanon	
	15	第15回 G-TELP まとめ	

16 第16回 Final Examination	
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	Message to Our Future 金星堂 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% G-TELP 20% Final Examination 50%
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPテストは、原則15回目の授業で実施。詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。

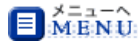


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009007	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Ea)		
編集担当教員	加島 巧		
授業担当教員名(科目責任者)	加島 巧		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	加島 巧		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]301		
対象学生(クラス等)	Ea		
担当教員Eメールアドレス	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業時間の前後		
授業のねらい	ねらい: 英語によるスピーチを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、スピーチの原文を理解できることを目指します。併せて、リスニング能力や速読能力を高めるテキストも使用し、英語の総合力を高めます。		
授業方法(学習指導法)	授業方法(学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初には、リスニングや、速読能力を高める授業を行います。毎回指定された量の自宅学習も必要とされます。		
授業到達目標	到達目標: テキストの英語を辞書無しでも読めることを目指します。付属CDでテキストの内容が聞き取れるようにします。		
授業内容	授業の最初には、English Proficiency Test でウォーミングアップを行います。その後Memorable Speechesを読んで行きます。かならず指定された部分を予習しておいてください。English Proficiency Test にはテキストとは別に問題集も付属していますので、各自ノートを作成し、毎週指定された部分の問題を解いて行ってもらいます。		
	回	内容	
	1	第1回: オリエンテーション	
	2	第2回: Practice Test 1, LincolnのThe Gettysburg Address	
	3	第3回: Practice Test 2, Obama のVictory Speech (1)	
	4	第4回: Practice Test 3, Obama のVictory Speech (2)	
	5	第5回: Practice Test 4, ObamaのVictory Speech (3)	
	6	第6回: Practice Test 5, Murakami HarukiのJerusalem Speech (1)	
	7	第7回: Practice Test 6, Murakami haruki のJerusalem Speech (2)	
	8	第8回: Practice Test 7, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (1)	
	9	第9回: Practice Test 8, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (2)	
	10	第10回: Practice Test 9, RooseveltのAnnual Message to Coness(1)	
	11	第11回: Practice Test 10, RooseveltのAnnual Message to Congress(2)	
	12	第12回: RooseveltのAnnual Message to Congress(3)	
	13	第13回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(1)	
14	第14回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(2)		

	15 第15回:G-TELPテストとまとめ
	16 第16回:定期試験7月27日
キーワード	スピーチ、総合英語
教科書・教材・参考書	English Proficiency Test (南雲堂)2,100円 Memorable Speeches (センゲージ)1,995円 (第一回目の授業時に教室にて販売します)
成績評価の方法・基準等	定期試験80%、G-TELP20%
受講要件(履修条件)	定期試験の受験資格は規定による。教科書は2冊必ず購入すること
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3																								
開講期間																											
必修選択	必	単位数	1.0																								
時間割コード	20110590009016	科目番号	05900090																								
授業科目名	●総合英語 I (Ec)																										
編集担当教員	中村 吏花																										
授業担当教員名(科目責任者)	中村 吏花																										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 吏花																										
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																										
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																								
教室	[全]402																										
対象学生(クラス等)	Ec																										
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)																										
担当教員研究室	非常勤講師控室																										
担当教員TEL																											
担当教員オフィスアワー	水曜昼休み																										
授業のねらい	『チャーリーとチョコレート工場』がよく知られるダールの大人向けの作品を丁寧に読み、その物語を味わう。高校までに学習してきた英語の基礎的な文法事項を再確認する。新出語句や表現を習得する。英語の音の特徴を知り、慣れる。																										
授業方法(学習指導法)	英文解釈や英文音読など毎回無作為に指名して発表してもらい、CDを活用して、英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を聞き、読む訓練をする。重要文法事項を解説する。																										
授業到達目標	自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることが出来る。基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することが出来る。																										
授業内容	<p>始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CDを活用してディクテーションや音読など英語を聞き、読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。内容がよくつかめない時は、何がわからないのかを明らかにさせてきてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など、細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。速読・精読を意識して読んでいきましょう。*教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それより遅い入室は欠席扱いとします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 4月6日 Introduction, The Landlady</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 4月13日 The Landlady</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 4月20日 The Landlady</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 4月27日 The Landlady</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 5月11日 The Landlady</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 5月18日 The Landlady</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 5月25日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 6月1日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 6月8日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回 6月15日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第11回 6月22日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 4月6日 Introduction, The Landlady	2	第2回 4月13日 The Landlady	3	第3回 4月20日 The Landlady	4	第4回 4月27日 The Landlady	5	第5回 5月11日 The Landlady	6	第6回 5月18日 The Landlady	7	第7回 5月25日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat	8	第8回 6月1日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat	9	第9回 6月8日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat	10	第10回 6月15日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat	11	第11回 6月22日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat
回	内容																										
1	第1回 4月6日 Introduction, The Landlady																										
2	第2回 4月13日 The Landlady																										
3	第3回 4月20日 The Landlady																										
4	第4回 4月27日 The Landlady																										
5	第5回 5月11日 The Landlady																										
6	第6回 5月18日 The Landlady																										
7	第7回 5月25日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat																										
8	第8回 6月1日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat																										
9	第9回 6月8日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat																										
10	第10回 6月15日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat																										
11	第11回 6月22日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat																										

	12	第12回 6月29日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat
	13	第13回 7月6日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat
	14	第14回 7月13日 Mrs Boxby and the Colonel' s Coat
	15	第15回 7月20日 G-TELPとまとめ
	16	第16回 7月27日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	R.ダール『ダール短編集』(松柏社、1981年)840円 *必ずテキスト本体を入手して出席してください。テキストのない人の受講を認めません。	
成績評価の方法・基準等	定期試験65%、課題15%、G-TELP20%	
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がないと定期試験を受験できません。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。 正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009027	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Eb)		
編集担当教員	井上 一郎		
授業担当教員名(科目責任者)	井上 一郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井上 一郎		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]21講義室		
対象学生(クラス等)	Eb		
担当教員Eメールアドレス	inoue@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部6F		
担当教員TEL	819-2376		
担当教員オフィスアワー	月曜日4校時		
授業のねらい	英文テキストを用いて徹底的な読解指導を行います。テキストとは、そこにおいて、読者は「内在する読者」となり、「内在する作者」からのメッセージを聴き取る、ある意味で、極めてコミュニカティブな場です。		
授業方法(学習指導法)	クラスの人数は多いかもしれませんが、演習形式で進めます。この形式を成立させるのは、受講生の側の努力も必要です。つまり、必ず予めテキストは読んでおいて下さい。		
授業到達目標	読解力の達成は、英文を日本語に表現し直した場合に査定されます。したがって、正確な日本語の能力もあわせて必要になります。		
授業内容	回	内容	
	1	第一回 オリエンテーション 授業の進め方等を説明する。	
	2	第二回 It's high time men ceased to regard women as second class citizen	
	3	第三回 Television is doing irreparable harm	
	4	第四回 Any form of education other than co-education is simply unthinkable	
	5	第五回 New fashions in clothing are created solely for the commercial exploitation of women	
	6	第六回 The younger generation knows best	
	7	第七回 Parents are too permissive with their children	
	8	第八回 Advertisers perform a useful service to the community	
	9	第九回 Vicious and dangerous sports should be banned by law	
	10	第十回 Examinations exert a pernicious influence on education	
	11	第十一回 Books, plays and film should be censored	
	12	第十二回 The tourist trade contributes absolutely nothing to increasing understanding between nations	
	13	第十三回 Equality of opportunity in the twentieth century has not destroyed the class system	
	14	第十四回 Capital punishment is the only way to deter criminals	
	15	第十五回 The space race is the world's biggest money waster およびG-TELPテスト	
	16	第十六回 定期試験	
キーワード	スロー・リーディング、コミュニケーション		

教科書・教材・参考書	テキスト:FOR AND AGAINST
成績評価の方法・基準等	定期試験 80%、G-TELP20%
受講要件(履修条件)	全回出席。全回予習。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	前期	曜日・校時	水4																														
開講期間																																	
必修選択	必	単位数	1.0																														
時間割コード	20110590009008	科目番号	05900090																														
授業科目名	●総合英語 I (Tc)																																
編集担当教員	加島 巧																																
授業担当教員名(科目責任者)	加島 巧																																
授業担当教員名(オムニバス科目等)	加島 巧																																
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																																
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																														
教室	[全]301																																
対象学生(クラス等)	Tc																																
担当教員Eメールアドレス	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp																																
担当教員研究室	非常勤講師控え室																																
担当教員TEL																																	
担当教員オフィスアワー	授業時間の前後																																
授業のねらい	ねらい: 英語によるスピーチを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、スピーチの原文を理解できることを目指します。併せて、リスニング能力や速読能力を高めるテキストも使用し、英語の総合力を高めます。																																
授業方法(学習指導法)	授業方法(学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初には、リスニングや、速読能力を高める授業を行います。毎回指定された量の自宅学習も必要とされます。																																
授業到達目標	到達目標: テキストの英語を辞書無しでも読めることを目指します。付属CDでテキストの内容が聞き取れるようにします。																																
授業内容	<p>授業の最初には、English Proficiency Test でウォーミングアップを行います。その後Memorable Speechesを読んで行きます。かならず指定された部分を予習しておいてください。English Proficiency Test にはテキストとは別に問題集も付属していますので、各自ノートを作成し、毎週指定された部分の問題を解いて行ってもらいます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回: オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回: Practice Test 1, LincolnのThe Gettysburg Address</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回: Practice Test 2, Obama のVictory Speech (1)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回: Practice Test 3, Obama のVictory Speech (2)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回: Practice Test 4, ObamaのVictory Speech (3)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回: Practice Test 5, Murakami HarukiのJerusalem Speech (1)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回: Practice Test 6, Murakami haruki のJerusalem Speech (2)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回: Practice Test 7, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (1)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回: Practice Test 8, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (2)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回: Practice Test 9, RooseveltのAnnual Message to Congress(1)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第11回: Practice Test 10, RooseveltのAnnual Message to Congress(2)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>第12回: RooseveltのAnnual Message to Congress(3)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>第13回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(1)</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>第14回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(2)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回: オリエンテーション	2	第2回: Practice Test 1, LincolnのThe Gettysburg Address	3	第3回: Practice Test 2, Obama のVictory Speech (1)	4	第4回: Practice Test 3, Obama のVictory Speech (2)	5	第5回: Practice Test 4, ObamaのVictory Speech (3)	6	第6回: Practice Test 5, Murakami HarukiのJerusalem Speech (1)	7	第7回: Practice Test 6, Murakami haruki のJerusalem Speech (2)	8	第8回: Practice Test 7, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (1)	9	第9回: Practice Test 8, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (2)	10	第10回: Practice Test 9, RooseveltのAnnual Message to Congress(1)	11	第11回: Practice Test 10, RooseveltのAnnual Message to Congress(2)	12	第12回: RooseveltのAnnual Message to Congress(3)	13	第13回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(1)	14	第14回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(2)
回	内容																																
1	第1回: オリエンテーション																																
2	第2回: Practice Test 1, LincolnのThe Gettysburg Address																																
3	第3回: Practice Test 2, Obama のVictory Speech (1)																																
4	第4回: Practice Test 3, Obama のVictory Speech (2)																																
5	第5回: Practice Test 4, ObamaのVictory Speech (3)																																
6	第6回: Practice Test 5, Murakami HarukiのJerusalem Speech (1)																																
7	第7回: Practice Test 6, Murakami haruki のJerusalem Speech (2)																																
8	第8回: Practice Test 7, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (1)																																
9	第9回: Practice Test 8, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (2)																																
10	第10回: Practice Test 9, RooseveltのAnnual Message to Congress(1)																																
11	第11回: Practice Test 10, RooseveltのAnnual Message to Congress(2)																																
12	第12回: RooseveltのAnnual Message to Congress(3)																																
13	第13回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(1)																																
14	第14回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(2)																																

	15	第15回:G-TELPテストとまとめ
	16	第16回:定期試験7月27日
キーワード	スピーチ、総合英語	
教科書・教材・参考書	English Proficiency Test (南雲堂)2,100円 Memorable Speeches (センテージ)1,995円 (第一回目の授業時に教室にて販売します)	
成績評価の方法・基準等	定期試験80% G-TELP 20%	
受講要件(履修条件)	定期試験の受験資格は規定による。教科書は2冊とも必ず購入すること。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水4																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20110590009017	科目番号	05900090																				
授業科目名	●総合英語 I (Tj)																						
編集担当教員	中村 吏花																						
授業担当教員名(科目責任者)	中村 吏花																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 吏花																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]402																						
対象学生(クラス等)	Tj																						
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスアワー	水曜昼休み																						
授業のねらい	英語の4技能を総合的に向上させる。フレーズリーディングの訓練をする。コミュニケーションだけでなく、TOEICやTOEFLなどにも役立つ基本的な文法を身に付ける。新出語句や表現を習得する。リスニング・リーディング練習をバランスよく行い、英語の音声・英文の構造に慣れる。速読・精読を意識して行う。																						
授業方法(学習指導法)	必ず予習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。テキスト付属のCDを活用して英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を読み・聞く訓練をする。授業中にそれぞれの問題のポイントと、内容を理解する。重要文法事項を解説する。																						
授業到達目標	自分が必要とする情報を正しく適切に読み取る事ができる。基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解する事ができる。																						
授業内容	<p>始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CDを活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。内容がよくつかめなときは、何がわからないのかを明らかにさせてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。*教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それより遅い入室は欠席扱いとします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第 1回 4月6日 Introduction</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第 2回 4月13日 Formal Letter Writing</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第 3回 4月20日 U.S.Teens</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第 4回 4月27日 How Old Is Old Enough</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第 5回 5月11日 Review</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第 6回 5月18日 The History of Hollywood</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第 7回 5月25日 Numbers and Beliefs</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第 8回 6月1日 The History of Chocolate</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第 9回 6月8日 Review</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第 1回 4月6日 Introduction	2	第 2回 4月13日 Formal Letter Writing	3	第 3回 4月20日 U.S.Teens	4	第 4回 4月27日 How Old Is Old Enough	5	第 5回 5月11日 Review	6	第 6回 5月18日 The History of Hollywood	7	第 7回 5月25日 Numbers and Beliefs	8	第 8回 6月1日 The History of Chocolate	9	第 9回 6月8日 Review
回	内容																						
1	第 1回 4月6日 Introduction																						
2	第 2回 4月13日 Formal Letter Writing																						
3	第 3回 4月20日 U.S.Teens																						
4	第 4回 4月27日 How Old Is Old Enough																						
5	第 5回 5月11日 Review																						
6	第 6回 5月18日 The History of Hollywood																						
7	第 7回 5月25日 Numbers and Beliefs																						
8	第 8回 6月1日 The History of Chocolate																						
9	第 9回 6月8日 Review																						

	10	第10回 6月15日 Breakfast Like King
	11	第11回 6月22日 Oh, No—Not Another Test!
	12	第12回 6月29日 FAQs About Recycling
	13	第13回 7月6日 Time for Work, Time for Play
	14	第14回 7月13日 Review
	15	第15回 7月20日 G-TELPとまとめ
	16	第16回 7月27日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	川又正之『リーディングスキルの実践演習』(成美堂、2005年) *必ずテキスト本体を入手して出席してください。テキストのない人の受講を認めません。	
成績評価の方法・基準等	定期試験65%、課題15%、G-TELP20%	
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。 正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_総英 I」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009019	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Ti)		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	Ti		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	0.0		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	特にReadingに関してバランスの取れたスキルアップを目指します。日本語訳、英語訳の対応力、判断力、そして応用力をつけていきます。		
授業方法(学習指導法)	:できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業到達目標	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。		
授業内容	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。多様なトピックについて多く取り上げられているTextです。Phrase Reading, Skimming-Scanning, Listening, 意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで演習します。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction	
	2	第2回 Unit 1 Mt. Everest Trash Turned Into Other Men's Treasure	
	3	第3回 Unit 2 Palestinian Ensemble Gives Cultural Lesson to Americans	
	4	第4回 Unit 3 Zambian Children Get Their Education Over the Radio	
	5	第5回 Unit 4 Plan Calls for Brazilian Schoolkids to Drink Coffee	
	6	第6回 Unit 5 U.N. Member States Urged to Observe Olympic Truce	
	7	第7回 Unit 6 Jewish, Muslim Students Live Together to Promote Peace	
	8	第8回 Unit 7 Bosnian Soccer Club Shows Unity Can Work	
	9	第9回 Unit 8 Aceh Students Join Tsunami Recovery Efforts	
	10	第10回 Unit 9 Palestinian Rappers Fight Occupation with Music, Not Bombs	
	11	第11回 Unit 10 Beijing Suggests Rooftop Lawns for Cleaner Air	
	12	第12回 Unit 11 Start of School Year Signals Progress for Afghanistan	
	13	第13回 Unit 12 Tiny Chilean Clarinet Maker Crafts World's Best	
	14	第14回 Unit 13 U.N. Vet Spreads Goodwill in War-Torn Lebanon	
	15	第15回 G-TELP まとめ	

16 第16回 Final Examination	
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	Message to Our Future 金星堂 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% G-TELP 20% Final Examination 50%
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPテストは、原則15回目の授業で実施。詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	前期	曜日・校時	水4												
開講期間															
必修選択	必	単位数	1.0												
時間割コード	20110590009022	科目番号	05900090												
授業科目名	●総合英語 I (Te)														
編集担当教員	藤本 ゆかり														
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり														
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習														
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目												
教室	[全]104														
対象学生(クラス等)	Te														
担当教員Eメールアドレス															
担当教員研究室	非常勤講師控室														
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)														
担当教員オフィスアワー	授業終了後 4時より														
授業のねらい	世界中から発信された、最新の環境や健康に関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界の環境や健康に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、和訳の仕方を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。														
授業方法(学習指導法)	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、和訳の技術、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。														
授業到達目標	健康に対して関心を持ち、生活に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。和訳の技術を高めることができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。														
授業内容	<p>リーディングの方法として、準備段階を踏んで、リーディング本来の活動(スキミング、スキヤニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキヤニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、TOEIC形式の文法問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。</p> <p>英文は英字新聞から選ばれてきたものであり、フレーズ・リーディングを行うことで、教科書は特色あるものである。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行って下さい。 自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月 6日 導入・授業内容の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月13日 Unit 1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月20日 Unit 2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4月27日 Unit 3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月11日 Unit 4</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月 6日 導入・授業内容の説明	2	4月13日 Unit 1	3	4月20日 Unit 2	4	4月27日 Unit 3	5	5月11日 Unit 4
回	内容														
1	4月 6日 導入・授業内容の説明														
2	4月13日 Unit 1														
3	4月20日 Unit 2														
4	4月27日 Unit 3														
5	5月11日 Unit 4														

	6	5月18日	Unit 5
	7	5月25日	Unit 6
	8	6月 1日	Unit 7
	9	6月 8日	Unit 8
	10	6月15日	Unit 9
	11	6月22日	Unit 10
	12	6月29日	Unit 11
	13	7月 6日	Unit 12
	14	7月13日	Unit 13
	15	7月20日	ポスト・テスト(G-TELPとまとめ)
	16		定期試験
キーワード	リーディング / リスニング / 英文法 / 英字新聞 / 世界の出来事 / 健康		
教科書・教材・参考書	健康・食品ニュースを読む（小笠原真司：金星堂）英和辞典（電子辞書）を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%【定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視します。】、英語共通テストG-TELP評価20%		
受講要件(履修条件)	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ	リーディング・スキルの定着と向上を図る。		
学習・教育目標	総合的な英語の能力の基本を習得する。世界の出来事への関心を高める。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	授業には必ず予習をして臨んで下さい。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意を掴んでおきます。		





タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学 総英 I」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 1																										
開講期間																													
必修選択	必	単位数	1.0																										
時間割コード	20110590009003	科目番号	05900090																										
授業科目名	●総合英語 I (M12)																												
編集担当教員	山口 敦子																												
授業担当教員名(科目責任者)	山口 敦子																												
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山口 敦子																												
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																												
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																										
教室	[全]303																												
対象学生(クラス等)	M12																												
担当教員Eメールアドレス																													
担当教員研究室	非常勤講師室																												
担当教員TEL	095(846)0084																												
担当教員オフィスアワー	授業終了時																												
授業のねらい	日本でも親しまれている英米の物語やエッセイを原文で読むことによって、文法力や語彙力を増やし、長文の読解力を強化することを目標とする。本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景とともに生きた英語を学ぶ。本年度はファンタジーの傑作、『不思議の国のアリス』(Alice's Adventure in Wonderland)をテキストとして取り上げる。数学教師ルイス・キャロルが世に送り出したこの物語の最大の魅力は英語そのものにあると言われる。地口(パン)、混成語、パロディ、論理学、ノンセンスとあらゆる言葉遊びが散りばめられたテキストからは英語という言葉の多層性と可能性、そして何よりも知的な楽しさを味わうことができる。精読と速読を組み合わせることで、ある程度の難易度をもつ英文を読む力を身につける。																												
授業方法(学習指導法)	毎回和訳を中心にテキストを進める。あらかじめ指定された担当者はテキストを読み和訳を発表する。リスニングテープにより、リスニング力を向上させ、英文のリズムを体得する。																												
授業到達目標	語彙力を強化するとともに、論理的な英文の構造に慣れ、将来専門分野における論文を読みこなす力を付ける。																												
授業内容	<p>毎回テキスト『不思議の国のアリス』(Alice's Adventure in Wonderland)に沿って、和訳とリスニングを中心に本文を読み進める。受講者は前もってその箇所を予習しておく。あらかじめ指定された担当者はテキストを読み、和訳を発表する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 イン트로ダクション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 Down the Rabbit-Hole</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 Down the Rabbit-Hole</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 The Pool of Tears</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 The Pool of Tears</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 A Caucus-Race and a Long Tale</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 Advice from a Caterpillar</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 Pig and Pepper</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 The Mad Tea Party</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回 The Mad Tea Party</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第11回 Who Stole the Tarts?</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>第12回 Who Stole the Tarts?</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 イン트로ダクション	2	第2回 Down the Rabbit-Hole	3	第3回 Down the Rabbit-Hole	4	第4回 The Pool of Tears	5	第5回 The Pool of Tears	6	第6回 A Caucus-Race and a Long Tale	7	第7回 Advice from a Caterpillar	8	第8回 Pig and Pepper	9	第9回 The Mad Tea Party	10	第10回 The Mad Tea Party	11	第11回 Who Stole the Tarts?	12	第12回 Who Stole the Tarts?
回	内容																												
1	第1回 イン트로ダクション																												
2	第2回 Down the Rabbit-Hole																												
3	第3回 Down the Rabbit-Hole																												
4	第4回 The Pool of Tears																												
5	第5回 The Pool of Tears																												
6	第6回 A Caucus-Race and a Long Tale																												
7	第7回 Advice from a Caterpillar																												
8	第8回 Pig and Pepper																												
9	第9回 The Mad Tea Party																												
10	第10回 The Mad Tea Party																												
11	第11回 Who Stole the Tarts?																												
12	第12回 Who Stole the Tarts?																												

	13	第13回 Alice's Evidence
	14	第14回 Alice's Evidence
	15	第15回 総括及びG-TELP テスト
	16	第16回 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	『不思議の国のアリス』(Alice's Adventure in Wonderland)	
成績評価の方法・基準等	授業中の課題に対する積極的な取り組み状況: 10% 期末試験: 70% G-TELP: 20%	
受講要件(履修条件)	予習をもって授業に臨むこと	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木2																												
開講期間																															
必修選択	必	単位数	1.0																												
時間割コード	20110590009004	科目番号	05900090																												
授業科目名	●総合英語 I (M14)																														
編集担当教員	山口 敦子																														
授業担当教員名(科目責任者)	山口 敦子																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山口 敦子																														
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																														
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																												
教室	[全]303																														
対象学生(クラス等)	M14																														
担当教員Eメールアドレス																															
担当教員研究室	非常勤講師控室																														
担当教員TEL	095-846-0084																														
担当教員オフィスマワー	授業終了後																														
授業のねらい	日本でも親しまれている英米の物語を読むことによって、文法力や語彙力を増やし、長文の読解力を強化することを目標とする。本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景を学びながら生きた英語を味わっていく。本年度はシェイクスピアの戯曲『ロミオとジュリエット』、『ハムレット』の2作品を散文の物語にしたものをテキストとして取り上げる。またCDを聞くことでリスニング力を付け、英文のリズムをつかむ。																														
授業方法(学習指導法)	毎回和訳とリスニングを中心にテキストを読み進める。精読と速読を組み合わせることで、英文の読解力の向上を図る。あらかじめ指定された担当者はテキストを音読し、和訳を発表する。																														
授業到達目標	英語の文法力や語彙力を増やし、重要な構文をきちんと把握しながら、長文の読解力を強化する。CDに収められている情感に富む生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、日本語とは異なる英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。																														
授業内容	<p>毎回テキストに沿って、和訳とリスニングを中心に本文を約3頁読み進める。受講者は前もってその箇所を予習しておく。あらかじめ指定された担当者はテキストを読み、和訳を発表する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>イントロダクション(授業の進め方、シェイクスピアとその英語について)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Romeo and Juliet Ch1: Love's Transgression</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Romeo and Juliet Ch2: My Life Is My Foe's Debt</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Romeo and Juliet Ch3: Parting is Such Sweet Sorrow</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Romeo and Juliet Ch4: The Measure of Thy Joy</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Romeo and Juliet Ch5: O, I Am Fortune's Fool</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Romeo and Juliet Ch6: Take Heed, for Such Die Miserable</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Romeo and Juliet Ch7: A Cold and Drowsy Humour</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Romeo and Juliet Ch8: Never Was a Story of More Woe</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Hamlet Ch1: Murder Most Foul</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Hamlet Ch2: Conscience Does Make Cowards of Us All</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Hamlet Ch3: The Mousetrap</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Hamlet Ch4: Words without Thoughts Never to Heaven Go</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	イントロダクション(授業の進め方、シェイクスピアとその英語について)	2	Romeo and Juliet Ch1: Love's Transgression	3	Romeo and Juliet Ch2: My Life Is My Foe's Debt	4	Romeo and Juliet Ch3: Parting is Such Sweet Sorrow	5	Romeo and Juliet Ch4: The Measure of Thy Joy	6	Romeo and Juliet Ch5: O, I Am Fortune's Fool	7	Romeo and Juliet Ch6: Take Heed, for Such Die Miserable	8	Romeo and Juliet Ch7: A Cold and Drowsy Humour	9	Romeo and Juliet Ch8: Never Was a Story of More Woe	10	Hamlet Ch1: Murder Most Foul	11	Hamlet Ch2: Conscience Does Make Cowards of Us All	12	Hamlet Ch3: The Mousetrap	13	Hamlet Ch4: Words without Thoughts Never to Heaven Go
回	内容																														
1	イントロダクション(授業の進め方、シェイクスピアとその英語について)																														
2	Romeo and Juliet Ch1: Love's Transgression																														
3	Romeo and Juliet Ch2: My Life Is My Foe's Debt																														
4	Romeo and Juliet Ch3: Parting is Such Sweet Sorrow																														
5	Romeo and Juliet Ch4: The Measure of Thy Joy																														
6	Romeo and Juliet Ch5: O, I Am Fortune's Fool																														
7	Romeo and Juliet Ch6: Take Heed, for Such Die Miserable																														
8	Romeo and Juliet Ch7: A Cold and Drowsy Humour																														
9	Romeo and Juliet Ch8: Never Was a Story of More Woe																														
10	Hamlet Ch1: Murder Most Foul																														
11	Hamlet Ch2: Conscience Does Make Cowards of Us All																														
12	Hamlet Ch3: The Mousetrap																														
13	Hamlet Ch4: Words without Thoughts Never to Heaven Go																														

	14	Hamlet Ch5: To Whet Thy Almost Blunted Sword
	15	まとめ、及び G-TELP テスト
	16	定期試験
キーワード	リーディング、英文法、語彙、構文把握、シェイクスピア	
教科書・教材・参考書	Simply Shakespeare (南雲堂)	
成績評価の方法・基準等	授業への積極的な取り組み状況(発表)10%、定期試験 70%、G-TELP 20%	
受講要件(履修条件)	毎回予習して授業に臨むこと	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009002	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Tb)		
編集担当教員	大里 泰弘		
授業担当教員名(科目責任者)	大里 泰弘		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大里 泰弘		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	Tb		
担当教員Eメールアドレス	yoosato5@gmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業時に要確認		
授業のねらい	・英語の基本的なコミュニケーション文法を習得することを目標とする。 ・TOEIC基礎学力の定着		
授業方法(学習指導法)	学生に身近なトピックを取り上げ、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングの総合的演習を行う。		
授業到達目標	基本的な英語の読解、文法、語彙力の定着・向上		
授業内容	ユニットごとにテーマを取り上げての総合演習。・TOEIC様式の問題での学習(プリント)。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction L1 I love junk food	
	2	第2回 L2 A new member	
	3	第3回 L3 Help!	
	4	第4回 L4 Pet	
	5	第5回 L5 Have you ever seen a UFO?, Review1	
	6	第6回 L6 Online shopping	
	7	第7回 L7 Lucky charm in a sobe shop	
	8	第8回 L8 Fishing is exciting	
	9	第9回 L9 Angels in white	
	10	第10回 L10 Robot, Review2	
	11	第11回 L11 Bano centest	
	12	第12回 L12 Let's go to a museum	
	13	第13回 L13 Miss you	
	14	第14回 L14 Goodbye, Linda	
	15	第15回 G-TELPとまとめ	
16	第16回 定期試験		
キーワード	Communicative Grammar		

教科書・教材・参考書	English Quest- Basic Pearson Longman
成績評価の方法・基準等	定期試験はReview3としてReview1-3 60%、授業参加度(QUIZ・課題提出等)20%、G-TELP20%で評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3																												
開講期間																															
必修選択	必	単位数	1.0																												
時間割コード	20110590009011	科目番号	05900090																												
授業科目名	●総合英語 I (Ta)																														
編集担当教員	勝俣 好充																														
授業担当教員名(科目責任者)	勝俣 好充																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	勝俣 好充																														
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																														
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																												
教室	[全]303																														
対象学生(クラス等)	Ta																														
担当教員Eメールアドレス																															
担当教員研究室	非常勤講師室																														
担当教員TEL	095-846-0084(長崎純心大学)																														
担当教員オフィスアワー	3限終了後、教室にて。																														
授業のねらい	大学において第二言語として英語を学ぶ目的、方法、考え方をあらためて整理・明確化し、これまでの学習の蓄積を俯瞰・統合・活性化することにつとめる。とくに英文の基本構造を正確に把握する力をやしなうことをねらいとする。受講者はそのためのスキルを主体的に再編・確認することがもとめられる。																														
授業方法(学習指導法)	基本事項を確認した後、テキスト読解を中心に、指名された学生はテキストの当該箇所について発表し、他の学生の質問に答えるというかたちですめる。																														
授業到達目標	英文の構造を語、句、節、文、段落のレベルでそれぞれ理解し、300語程度の比較的短い論説文を正確に読み解くことができるようになること。																														
授業内容	<p>最初にあらためて英語を学ぶ目的、方法、考え方を整理・明確化することからはじめ、その後、音声、文法、論旨の把握にかんする基本事項を確認し、テキスト演習をとおして、これまでの英語学習の蓄積を統合・活性化していく。授業終了後には、英語習得のスキルとして、みずから編集したレジュメを提出課題とする。そのようにして再確認された英語力によって、期末試験にのぞむことになる。</p> <p>第16回、7月28日、定期試験。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月7日、英語を学ぶ目的、方法、考え方</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月14日、音声の基本事項(1)、母音と子音</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月21日、音声の基本事項(2)、強勢、リズム、変化する音</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4月28日、文法の基本事項(1)、品詞、句、節</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月12日、文法の基本事項(2)主部の構造</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5月19日、文法の基本事項(3)述部の構造</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5月26日、論旨の基本事項(1)パラグラフの構造</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6月2日、論旨の基本事項(2)論旨の展開</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6月9日、テキスト演習(1)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6月16日、テキスト演習(2)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6月23日、テキスト演習(3)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>6月30日、テキスト演習(4)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7月7日、テキスト演習(5)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月7日、英語を学ぶ目的、方法、考え方	2	4月14日、音声の基本事項(1)、母音と子音	3	4月21日、音声の基本事項(2)、強勢、リズム、変化する音	4	4月28日、文法の基本事項(1)、品詞、句、節	5	5月12日、文法の基本事項(2)主部の構造	6	5月19日、文法の基本事項(3)述部の構造	7	5月26日、論旨の基本事項(1)パラグラフの構造	8	6月2日、論旨の基本事項(2)論旨の展開	9	6月9日、テキスト演習(1)	10	6月16日、テキスト演習(2)	11	6月23日、テキスト演習(3)	12	6月30日、テキスト演習(4)	13	7月7日、テキスト演習(5)
回	内容																														
1	4月7日、英語を学ぶ目的、方法、考え方																														
2	4月14日、音声の基本事項(1)、母音と子音																														
3	4月21日、音声の基本事項(2)、強勢、リズム、変化する音																														
4	4月28日、文法の基本事項(1)、品詞、句、節																														
5	5月12日、文法の基本事項(2)主部の構造																														
6	5月19日、文法の基本事項(3)述部の構造																														
7	5月26日、論旨の基本事項(1)パラグラフの構造																														
8	6月2日、論旨の基本事項(2)論旨の展開																														
9	6月9日、テキスト演習(1)																														
10	6月16日、テキスト演習(2)																														
11	6月23日、テキスト演習(3)																														
12	6月30日、テキスト演習(4)																														
13	7月7日、テキスト演習(5)																														

	14	7月14日、テキスト演習(6)
	15	7月21日、G-TELPとまとめ
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	テキストはプリントを使用。参考書は随時紹介する。	
成績評価の方法・基準等	G-TELP 20%、提出課題10%、期末試験70%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。	

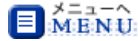


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009020	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (D16・17)		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]205		
対象学生(クラス等)	D16・17		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意訳の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業方法(学習指導法)	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業到達目標	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。		
授業内容	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意訳の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得して行きます。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction,	
	2	第2回 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)	
	3	第3回 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)	
	4	第4回 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)	
	5	第5回 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)	
	6	第6回 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)	
	7	第7回 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2)	
	8	第8回 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)	
	9	第9回 Unit 8 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)	
	10	第10回 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)	
	11	第11回 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2)	
	12	第12回 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3)	

	13	第13回 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Steam Factory Nagasaki 1856
	14	第14回 Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Growth 1861-1865
	15	第15回 G-TELP まとめ
	16	第16回 Final Examination
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)	
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Examination 70% (G-TELP: 20%, Final Examination: 50%)	
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	G-TELPテストは、原則15回目の授業で実施。詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金2																
開講期間																			
必修選択	必	単位数	1.0																
時間割コード	20110590009037	科目番号	05900090																
授業科目名	●総合英語 I (M11)																		
編集担当教員	宇佐美 康子																		
授業担当教員名(科目責任者)	宇佐美 康子																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	宇佐美 康子																		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																
教室	[全]124																		
対象学生(クラス等)	M11																		
担当教員Eメールアドレス	usamikan@fsinet.or.jp																		
担当教員研究室	非常勤講師控室																		
担当教員TEL																			
担当教員オフィスアワー	授業の前後																		
授業のねらい	このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。																		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストは、その場で読んでもらい大意を取る練習をするとともに、細かな部分は家庭で精読してもらいます。指定された範囲をきちんと読んで、予習しておくことも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。																		
授業到達目標	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word 約200語およびテキスト中のWords and Phrases 約300語の計500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してあるKey Sentenceとして、約60の構文が書けるようにします。同時にCDを使い、その構文が言えるようにします。論理的な文章を読むのに必要な実践的な文法知識を身に付けます。CDの英語を耳で聞いて意味が取れるようにします。																		
授業内容	<p>授業の最初には、英語構文や英単語の小テストを行います。これは、テキストからテスト範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについているCDを使いながら学習してきてください。成績のおよそ20%は、この小テストにて評価されます。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。この教材は、家庭でさらに精読してきてもらいます。次回の授業において、その精読の確認を行います。またプリント教材を用いて、リスニングやリーディングの練習、語彙の強化を行います。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第 1回 オリエンテーション Unit 1. Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第 2回 Unit 2. Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第 3回 Unit 3. Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第 4回 Unit 4. Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第 5回 Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第 6回 Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第 7回 Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第 1回 オリエンテーション Unit 1. Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)	2	第 2回 Unit 2. Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)	3	第 3回 Unit 3. Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)	4	第 4回 Unit 4. Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)	5	第 5回 Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)	6	第 6回 Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2)	7	第 7回 Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)
回	内容																		
1	第 1回 オリエンテーション Unit 1. Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)																		
2	第 2回 Unit 2. Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)																		
3	第 3回 Unit 3. Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)																		
4	第 4回 Unit 4. Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)																		
5	第 5回 Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)																		
6	第 6回 Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2)																		
7	第 7回 Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)																		

	8	第 8回 Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy
	9	第 9回 Unit15. Further Reading: Medicine around 1850—An overview
	10	第10回 Unit 10. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (1)
	11	第11回 Unit 11. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (2)
	12	第12回 Unit 12. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (3)
	13	第13回 Unit 13. Steam Factory Nagasaki 1856
	14	第14回 Unit 14. Growth 1861-1865
	15	第15回 G-TELP テストおよびまとめ
	16	第16回 定期試験(2011年8月5日) (補講日 2011年7月29日)
キーワード		
教科書・教材・参考書		教科書(テキスト):Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD付) 1,900円 教材 :プリント教材 適宜配布します。 *教科書は第一回目の講義時に販売します。
成績評価の方法・基準等		定期テスト60%、G-TELPテスト20%、毎回の小テストと授業中の発表20%で行います。
受講要件(履修条件)		全回出席が原則です。教科書も必ず購入して下さい。
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009005	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Kb)		
編集担当教員	橋本 高明		
授業担当教員名(科目責任者)	橋本 高明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	橋本 高明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]104		
対象学生(クラス等)	Kb		
担当教員Eメールアドレス	緊急の場合は全学教育事務室へ		
担当教員研究室			
担当教員TEL	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー	金曜日昼休み		
授業のねらい	この授業科目では、以下に示す技能の習得をめざす。 1) 英語文中の構成素の文法的役割とそれらのあいだの修飾関係を正確に理解する。 2) 英語文構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現するメタ言語訳を作る。 3) メタ言語訳中の構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現する英語文を作る。 4) 各段落中のtopic sentenceを同定する。 5) 記事全体の構成の中での各段落の役割および段落間の関係を理解し、説明する。		
授業方法(学習指導法)	各週の授業では、自然科学に関わる平易な記事を読み、音読により発音練習し、記事の英文の構造を正確に理解して日本語を用いたメタ言語訳を作る。また、記事の各段落についてtopic sentenceを見つけ、記事全体の中でそれぞれの段落がどのような役割を果たしているか、段落間にはどのような関係があるかを判定する演習を行う。履修者は、各週の記事・練習問題をかならず予習し、発表準備をして授業に臨むこと。		
授業到達目標	上記「授業のねらい」の技能(1)～(5)について、担当教員の評価で60%以上適切と評価される水準の言語技能を運用できるようになる。		
授業内容	15回の授業を行う。期末試験は、16回目授業校時(8月5日)に行う。		
	回	内容	
	1	第1回 4月15日 授業の内容・方法の説明、penmanshipプリテスト、文法プリテスト	
	2	第2回 4月22日 Unit 1: Reasons/Conclusions, Reading 1: More scientists should be given managerial positions	
	3	第3回 5月6日 Unit 1: Reasons/Conclusions, Reading 2: Will there ever be a "paperless" society?	
	4	第4回 5月13日 Unit 2: Analysis (Social Phenomena), Reading 1: Text messages	
	5	第5回 5月20日 Unit 2: Analysis (Social Phenomena), Reading 2: Why was religion born?	
	6	第6回 5月27日 Unit 3: Analysis (Evidence), Reading 1: Dust clouds	
	7	第7回 6月3日 Unit 3: Analysis (Evidence), Reading 2: Why don't more girls take up science?	
	8	第8回 6月10日 復習1、中間試験	
	9	第9回 6月17日 Unit 4: Controversy, Reading 1: GM foods	
	10	第10回 6月24日 Unit 4: Controversy, Reading 2: Boy or girl? Choosing your baby's sex	
	11	第11回 7月1日 Unit 5: Comparison / Contrast, Reading 1: Global dimming	
	12	第12回 7月8日 Unit 5: Comparison / Contrast, Reading 2: What makes us feel pleasure?	

	13	第13回 7月15日 Unit 6: Classification, Reading 1: Branches of Biotechnology
	14	第14回 7月22日 G-TELP試験実施
	15	第15回 7月29日 Unit 6: Classification, Reading 2: The digital device
	16	第16回 8月5日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書: Ishitani, Yumiko and Suzanne Embury. Outlook on Science and Technology. Tokyo: Nan'un-do, 2007. 参考書: 小野経男『チャート式新英文法』東京: 数研出版, 1990.	
成績評価の方法・基準等	成績は、原則として、2回の試験の評価を最終評価の64%、授業発表、宿題、提出物の評価を最終評価の16%、G-TELPの成績を最終評価の20%とする。正当な理由なく6回以上欠席した者は期末試験受験資格を失う。(詳細は以下の受講要件を参照のこと)	
受講要件(履修条件)	この授業を履修して単位取得するためには、上記「授業のねらい」の(1)~(5)の技能について、担当教員の評価基準で、少なくとも60%以上適切とされる水準の言語技能を習得しなくてはならない。技能(1)および(2)、(4)、(5)についてはおもに授業発表を通して評価を行う。技能(1)および(3)については2回の筆記試験を通して評価を行う。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	宿題、その他の提出物を遅れて提出することは認めない。授業には必ず辞書、教科書、筆記具、配布済みのハンドアウトを持参すること。やむを得ない事情(期末試験を欠席した場合に追試験が認められるような理由)で欠席した場合、公欠扱いを希望する者は、理由を明記した欠席届とやむを得ない理由を立証する証明書類を提出すること。公欠扱いにならない理由で中間試験を欠席した場合には、中間試験を0点扱いとする。	





タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009010	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Tg)		
編集担当教員	山田 健太郎		
授業担当教員名(科目責任者)	山田 健太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山田 健太郎		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	Tg		
担当教員Eメールアドレス	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業のねらい	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。		
授業方法(学習指導法)	具体的には、英文学習雑誌English-Plusの中から、比較的短くて読みやすいエッセイを選び、1回の授業で1エッセイを読む。これとは別にTOEICの練習問題を毎回して、目標を意識した学習を心がける。ディクテーション・テストも組み入れてリスニング力も強化する。		
授業到達目標	TOEIC400点以上の英語力		
授業内容	英語力鍛錬のため、毎回英英辞典を使ったクイズ、課題エッセイについての英問英答、TOEIC対策テキストを数ページする。数回おきにテキスト指定箇所のディクテーションテストを行なう。適宜実力テストを実施する。		
	回	内容	
	1	第1回 オリエンテーション(英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について)	
	2	第2回 エッセイ1Q&A、TOEIC対策テキストDrill 1, 2	
	3	第3回 エッセイ2Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 3, 4	
	4	第4回 エッセイ3Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 5, 6, 7, 8	
	5	第5回 エッセイ4Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 9, 10	
	6	第6回 エッセイ5Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 11, 12	
	7	第7回 エッセイ6Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 13, 14	
	8	第8回 エッセイ7Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 15, 16 ディクテーションテスト	
	9	第9回 エッセイ8Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 17, 18, 19, 20	
	10	第10回 エッセイ9Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 21, 22	
	11	第11回 エッセイ10Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 23, 24	
	12	第12回 エッセイ11Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 25, 26	
	13	第13回 エッセイ12Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 27, 28 ディクテーションテスト	
	14	第14回 エッセイ13Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 29, 30, 31, 32	
15	第15回 G-TELP テストとまとめ		

	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	English-Plus (採用ナンバーは後日決定する) 『新TOEIC Test文法・リーディング対策 初級問題集』松柏社
成績評価の方法・基準等	定期試験60%、小テスト(ディクテーション)20%、積極的な授業への参加度20%。 これらの総合成績を80%とし、G-TELPテストの結果を20%とする。(大学の評価方針による)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	

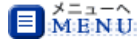


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_総英 I」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	前期	曜日・校時	金3												
開講期間															
必修選択	必	単位数	1.0												
時間割コード	20110590009023	科目番号	05900090												
授業科目名	●総合英語 I (Th)														
編集担当教員	藤本 ゆかり														
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり														
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習														
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目												
教室	[全]204														
対象学生(クラス等)	Th														
担当教員Eメールアドレス															
担当教員研究室	非常勤講師控室														
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)														
担当教員オフィスアワー	授業終了後 2時30分より														
授業のねらい	世界中から発信された、最新の環境や健康に関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界の環境や健康に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、和訳の仕方を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。														
授業方法(学習指導法)	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、和訳の技術、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。														
授業到達目標	健康に対して関心を持ち、生活に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。和訳の技術を高めることができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。														
授業内容	<p>リーディングの方法として、準備段階を踏んで、リーディング本来の活動(スキミング、スキヤニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキヤニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、TOEIC形式の文法問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。</p> <p>英文は英字新聞から選ばれてきたものであり、フレーズ・リーディングを行うことで、教科書は特色あるものである。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行って下さい。 自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月 8日 導入・授業内容の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月15日 Unit 1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月22日 Unit 2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5月 6日 Unit 3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月13日 Unit 4</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月 8日 導入・授業内容の説明	2	4月15日 Unit 1	3	4月22日 Unit 2	4	5月 6日 Unit 3	5	5月13日 Unit 4
回	内容														
1	4月 8日 導入・授業内容の説明														
2	4月15日 Unit 1														
3	4月22日 Unit 2														
4	5月 6日 Unit 3														
5	5月13日 Unit 4														

	6	5月20日	Unit 5
	7	5月27日	Unit 6
	8	6月 3日	Unit 7
	9	6月10日	Unit 8
	10	6月17日	Unit 9
	11	6月24日	Unit 10
	12	7月 1日	Unit 11
	13	7月 8日	Unit 12
	14	7月15日	Unit 13
	15	7月22日	ポスト・テスト(G-TELP試験とまとめ)
	16		定期試験
キーワード	健康・食品ニュースを読む（小笠原真司：金星堂）英和辞典（電子辞書）を必携すること。		
教科書・教材・参考書	教員評価分80%【定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視します。】 英語共通テストG-TELP評価20%		
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%【定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視します。】と英語共通テストG-TELP20%		
受講要件(履修条件)	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ	リーディング・スキルの定着と向上を図る。		
学習・教育目標	総合的な英語の能力の基本を習得する。世界の出来事への関心を高める。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	授業には必ず予習をして臨んで下さい。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意を掴んでおきます。		





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System

メニューへ
MENUログアウト
LOGOUT

シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。

[戻る](#)

学期	前期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009025	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Tf)		
編集担当教員	ペー シュウキー		
授業担当教員名(科目責任者)	ペー シュウキー		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ペー シュウキー		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]401		
対象学生(クラス等)	Tf		
担当教員Eメールアドレス	s-beh@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	授業の前後		
授業のねらい	健康や環境を中心とした英語のニュース記事を読み、また関連するニュースを見た上で、自分の考えを話したり、コメントを書いたりすることで、各種スキルを向上させる。		
授業方法(学習指導法)	授業はタスクとテキストを1回ごとに交互に進めていく。授業のねらいに沿って、毎回各種活動をとりにいれる。		
授業到達目標	英語のニュースを読んだり聞いたりして、理解した上で、その内容について自分の意見やコメントを英語で簡潔に表現できるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	ORIENTATION	
	2	第2回目 UNIT 3	
	3	第3回目 TASK	
	4	第4回目 UNIT 4	
	5	第5回目 TASK	
	6	第6回目 UNIT 5	
	7	第7回目 TASK	
	8	第8回目 UNIT 6	
	9	第9回目 TASK	
	10	第10回目 UNIT8	
	11	第11回目 TASK	
	12	第12回目 UNIT 9	
	13	第13回目 TASK	
	14	第14回目 UNIT 15	
	15	第15回目 G-TELPテストとまとめ	
16	16回目 END-OF-TERM EXAMINATION		
キーワード			

教科書・教材・参考書	"教科書:Healing Our World Today's Health and Environment News (南雲堂出版) 参考書:授業中に適宜紹介する"
成績評価の方法・基準等	"PARTICIPATION & PRESENTATION 20% MINI-LISTENING TEST 20% G-TELP 20% END-OF TERM EXAMINATION 40%"
受講要件(履修条件)	"1.英英辞典(電子辞書可)を毎回持参すること(携帯電話不可) 2.ノート(A4)を毎回持参すること"
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	1. 毎週課題を出すので家で完成させること 2. ほぼ毎週mini-listeningテストを実施するので準備しておくこと 3. 詳細については授業の初回に説明します





シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009029	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Ka)		
編集担当教員	松田 雅子		
授業担当教員名(科目責任者)	松田 雅子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松田 雅子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]205		
対象学生(クラス等)	Ka		
担当教員Eメールアドレス	mmatsuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階404研究室		
担当教員TEL	095-819-2740		
担当教員オフィスアワー	月曜日4-5時		
授業のねらい	基本的な英語を話す、聞く、読む、書く力を伸ばす。コミュニケーション力をつける。		
授業方法(学習指導法)	ビデオ・映画視聴、リスニング、リピーティング、シャドウイング、ペアで会話練習、リーディング、ライティング		
授業到達目標	簡単な会話の文型を覚えて、自分について、身近なことが言えるようになる。 簡単な英語の本をすらすらと読める。 自分のコメントを言えるようになる。		
授業内容	<p>① 外国語学習に音声の要素を含めるか否かが習得の成功の鍵となるので、CDを何度も聞き、声を出して練習する。I Cレコーダーに録音し、学習の記録をとる。 ② イギリスのドラマを視聴し、ロールプレイをする。 ③ 簡単な英語教材を読み、英語で内容をまとめ、意見を発表する。 ④ 映画を英語字幕で鑑賞する。</p> <p>第1回 1課—4課 第2回 5課—8課 第3回 9課—12課 第4回 13課—16課 第5回 17課—20課 第6回 21課—24課 第7回 25課—28課 第8回 29課—32課 第9回 33課—36課 第10回 37課—40課 第11回 41課—44課 第12回 45課—48課 第13回 49課—50課 第14回 会話テスト 第15回 G-TELPとreview 第16回 筆記テスト</p>		
キーワード	スピーキング、リピーティング、レコーディング、ペアワーク		
教科書・教材・参考書	1) 英会話なるほど練習帳 (アルク 2001) 2) 副読本 2冊 (テキストは最初の時間に販売) 3) プリント教材		
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%【定期試験 50%、口頭試験 30%、課題20%】G-TELPテスト20%		

受講要件(履修条件)	1) 毎回必ず授業に遅刻しないで出席すること 2) 毎日英語の音読を録音すること
本科目の位置づけ	英語の読み、書き、聞く、話す基礎を勉強する
学習・教育目標	簡単な英語の読み、書き、聞く、話す力をつける
備考(URL)	
備考(準備学習等)	毎日必ず英語を音読し、録音する 英語の映画を英語字幕で見る



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009006	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (Td)		
編集担当教員	橋本 高明		
授業担当教員名(科目責任者)	橋本 高明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	橋本 高明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]104		
対象学生(クラス等)	Td		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	緊急の場合は全学教育事務室へ		
担当教員オフィスアワー	金曜日昼休み		
授業のねらい	この授業科目では、以下に示す技能の習得をめざす。 1) 英語文中の構成素の文法的役割とそれらのあいだの修飾関係を正確に理解する。 2) 英語文構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現するメタ言語訳を作る。 3) メタ言語訳中の構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現する英語文を作る。 4) 各段落中のtopic sentenceを同定する。 5) 記事全体の構成の中での各段落の役割および段落間の関係を理解し、説明する。		
授業方法(学習指導法)	各週の授業では、自然科学に関わる平易な記事を読み、音読により発音練習し、記事の英文の構造を正確に理解して日本語を用いたメタ言語訳を作る。また、記事の各段落についてtopic sentenceを見つけ、記事全体の中でそれぞれの段落がどのような役割を果たしているか、段落間にはどのような関係があるかを判定する演習を行う。履修者は、各週の記事・練習問題をかならず予習し、発表準備をして授業に臨むこと。		
授業到達目標	上記「授業のねらい」の技能(1)～(5)について、担当教員の評価で60%以上適切と評価される水準の言語技能を運用できるようになる。		
授業内容	15回の授業を行い、16回目授業校時(8月5日)に期末試験を行う。		
	回	内容	
	1	第1回 4月15日 授業の内容・方法の説明、penmanshipプリテスト、文法プリテスト	
	2	第2回 4月22日 Unit 1: Bioplastics (1)	
	3	第3回 5月6日 Unit 1: Bioplastics (2) / Unit 2: Dandelions (1)	
	4	第4回 5月13日 Unit 2: Dandelions (2)	
	5	第5回 5月20日 Unit 3: Superbug Produces Ethanol (1)	
	6	第6回 5月27日 Unit 3: Superbug Produces Ethanol (2) / Unit 5: Electric Cars and Fuel Cells (1)	
	7	第7回 6月3日 Unit 5: Electric Cars and Fuel Cells (2)	
	8	第8回 6月10日 復習1、中間試験	
	9	第9回 6月17日 Unit 7: Wetlands in the Netherlands (1)	
	10	第10回 6月24日 Unit 7: Wetlands in the Netherlands (2) / Unit 9: Aluminum and the Environment (1)	
	11	第11回 7月1日 Unit 9: Aluminum and the Environment (2)	
12	第12回 7月8日 Unit 14: Solar Box Cookers (1)		

	13	第13回 7月15日 Unit 14: Solar Box Cookers (2) / Unit 16: Super Rice (1)
	14	第14回 7月22日 G-TELP試験実施とまとめ
	15	第15回 7月29日 Unit 16: Super Rice (2)
	16	第16回 8月5日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書: Nishimoto, Fumio. VOA Science for Today. Tokyo: Kinseido, 1996. 参考書: 小野経男『チャート式新英文法』東京: 数研究出版, 1990.	
成績評価の方法・基準等	成績は、原則として、2回の試験の評価を最終評価の64%、授業発表、宿題、提出物の評価を最終評価の16%、G-TELPの成績を最終評価の20%とする。正当な理由なく6回以上欠席した者は期末試験受験資格を失う。(詳細は以下の受講要件を参照のこと)	
受講要件(履修条件)	この授業を履修して単位取得するためには、上記「授業のねらい」の(1)～(5)の技能について、担当教員の評価基準で、少なくとも60%以上適切とされる水準の言語技能を習得しなくてはならない。技能(1)および(2)、(4)、(5)についてはおもに授業発表を通して評価を行う。技能(1)および(3)については2回の筆記試験を通して評価を行う。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	宿題、その他の提出物を遅れて提出することは認めない。授業には必ず辞書、教科書、筆記具、配布済みのハンドアウトを持参すること。やむを得ない事情(期末試験を欠席した場合に追試験が認められるような理由)で欠席した場合、公欠扱いを希望する者は、理由を明記した欠席届とやむを得ない理由を立証する証明書類を提出すること。公欠扱いにならない理由で中間試験を欠席した場合には、中間試験を0点扱いとする。	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System

メニューへ
MENUログアウト
LOGOUT

シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	前期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009026	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (M15)		
編集担当教員	ペー シュウキー		
授業担当教員名(科目責任者)	ペー シュウキー		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ペー シュウキー		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]401		
対象学生(クラス等)	M15		
担当教員Eメールアドレス	s-beh@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	授業の前後		
授業のねらい	健康や環境を中心とした英語のニュース記事を読み、また関連するニュースを見た上で、自分の考えを話したり、コメントを書いたりすることで、各種スキルを向上させる。		
授業方法(学習指導法)	授業はタスクとテキストを1回ごとに交互に進めていく。授業のねらいに沿って、毎回各種活動をとりにいれる。		
授業到達目標	英語のニュースを読んだり聞いたりして、理解した上で、その内容について自分の意見やコメントを英語で簡潔に表現できるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	ORIENTATION	
	2	第2回目 UNIT 3	
	3	第3回目 TASK	
	4	第4回目 UNIT 4	
	5	第5回目 TASK	
	6	第6回目 UNIT 5	
	7	第7回目 TASK	
	8	第8回目 UNIT 6	
	9	第9回目 TASK	
	10	第10回目 UNIT8	
	11	第11回目 TASK	
	12	第12回目 UNIT 9	
	13	第13回目 TASK	
	14	第14回目 UNIT 15	
	15	第15回目 G-TELPとまとめ	
16	16回目 END-OF-TERM EXAMINATION		
キーワード			

教科書・教材・参考書	"教科書:Healing Our World Today's Health and Environment News (南雲堂出版) 参考書:授業中に適宜紹介する"
成績評価の方法・基準等	"PARTICIPATION & PRESENTATION 20% MINI-LISTENING TEST 20% G-TELP 20% END-OF TERM EXAMINATION 40%"
受講要件(履修条件)	"1.英英辞典(電子辞書可)を毎回持参すること(携帯電話不可) 2.ノート(A4)を毎回持参すること"
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	1. 毎週課題を出すので家で完成させること 2. ほぼ毎週mini-listeningテストを実施するので準備しておくこと 3. 詳細については授業の初回に説明します





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_総英 I**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590009030	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (M13)		
編集担当教員	池田 俊也		
授業担当教員名(科目責任者)	池田 俊也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	池田 俊也		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	M13		
担当教員Eメールアドレス	t-iked@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館6階(621号室)		
担当教員TEL	821-2092		
担当教員オフィスアワー	在室時随時		
授業のねらい	①大学入学時までに習得した、総合的な英語力をさらに伸ばすこと。とりわけ、「読み」「書き」「聞き」「話す」という4つのスキルのうち、「読解力」「聴解力」に重点を置く。 ②「読解力」指導については、内容に応じて、音読及びボトムアップ、トップダウン的読解方法の実践指導を行う。 ③「聴解力」指導については、毎回行う小テストによって総力向上を図り、同時にコールシステムの積極的な活用を喚起する。		
授業方法(学習指導法)	①「パラグラフ・リーディング」の養成を主眼とするテキストを使用し、ラピッド・リーディングの訓練を行う。内容的には医学・医療英語を総合的に扱ったものであり、確実な理解がなされているかを練習問題を通して確認する。要点説明は各自にやってもらう。 ②あわせて、リスニングではこれまでに修得した聴解力をさらに伸ばすために、TOEIC Test に準じた問題集で毎時間小テストを実施する。		
授業到達目標	①要点を的確につかみ取る英語読解力と基本的な英語聴解力を身につけること。 ②TOEIC Test で700点以上の高得点を取れるような日常的な努力を、コールシステムなどの機材を活用する積極性を持つこと。		
	16回目 7月29日 定期試験		
	回	内容	
	1	以下のおおまかな順番で授業を進める。①はReading 教材の内容、②は聴解教材のトピック。日付横の語句は当日のスキル目標である。 4月8日:授業概要(テキストを通じた授業内容の説明) 読解 ①Basic for Health Care Professionals 聴解 ②Drill 1	
	2	4月15日:Phrase Reading の実際 読解 ①The Digestive System 聴解 ②Drill 2	
	3	4月22日:Words per Minute とは?速読の方法 読解 ①Cardiovascular System 聴解 ②Drill 3	
	4	5月6日:Topic sentence と Main idea 読解 ①The Neurological System 聴解 ②Drill 4	
		5月13日:Passage の中の Topic Paragraph	

授業内容	5	読解 聴解	①The Urinary System ②Drill 5	
	6	5月20日: Scanning の方法 読解 聴解	①The Reproductive System ②Drill 6	
	7	5月27日: 各種テストでの Scanning 利用 読解 聴解	①The Skeletal System ②Drill 7	
	8	6月3日: Skimming の方法 読解 聴解	①The Immune System ②Drill 8	
	9	6月10日: Paragraph Reading と Skimming 読解 聴解	①The Endocrine System ②Drill 9	
	10	6月17日: 未知語との遭遇(語彙の類推) 読解 聴解	①Preventing of the Infectious disease ②Drill 10	
	11	6月24日: テキストの展開 (Time Order)について 読解 聴解	①Cancer Detection ②Drill 11	
	12	7月1日: テキストの展開 (Cause and Effect)について 読解 聴解	①Robotic Surgery ②Drill 12	
	13	7月8日: テキストの構造 (Classification and Examples) 読解 聴解	①Genetic Research ②Drill 13	
	14	7月15日: Fact と Opinion の判別 読解 聴解	①Clinical Research ②Drill 14	
	15	7月22日: Critical Reading の実際とG-TELPテスト 読解 聴解	①Health Care for the Aging ②Presentation	
	16	定期試験		
	キーワード			
	教科書・教材・参考書	①西村月満 他, Understanding Health Care, 朝日出版 ②河合忠仁 他, Score Goals in ToEIC Test, Listening 600, 松柏社		
	成績評価の方法・基準等	期末筆記試験及び小テストの結果(80%)とG-TELP Test(20%)など総合的に評価する。		
	受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ				
学習・教育目標				
備考(URL)				
備考(準備学習等)				

